

教育職員免許法施行規則等の一部を改正する省令等の公布に係る教員の養成の状況についての情報の公表（平成26年9月26日公布、平成27年4月1日施行）について

東京都立大学の教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画に関すること

1 教員の養成の目標

東京都立大学の教職課程は、豊かな教養と深い専門的知識を身につけた教員を育成すべく開設したものであり、以下を目標としている。

- (1) 教職を旨とする学生自身が学び続け、生涯にわたって「人格の完成」・「平和で民主的な国家及び社会の形成者」（教育基本法^{※1}第1条。以下同じ。）を目指すとともに、教員として、生徒一人ひとりの学習する権利（日本国憲法^{※2}第26条）を保障し、「人格の完成」の追求を支援することができる力量を養成する。
- (2) 上記（1）の実現のために、幅広い教養を身につけ、教科専門性及び教職専門性の基礎理論を理解し、両者を結び合わせて教育現場で実践できる力量を養成する。

2 教員の養成の目標を達成するための計画

上記目標（1）を達成するために、学生自身が教員に求められている「研究と修養」（教育基本法^{※1}第9条）を続け、自らも国家と社会の形成者として生活していくことができるよう、本学の教職課程の目標作成、教育課程の編成と実施などに対して主体的に参加することをうながす場を設けている。

また、上記目標（2）を達成するために、下記の学びの機会を提供している。

- ①総合大学の長所を活かし、基礎・教養・基盤科目群等において、多様な学生と交流し、幅広い教養を学ぶとともに、専門教育科目群を通じて専門的な知識・技術を系統的に学ぶ
- ②実務家教員による教科指導法、学校インターンシップ、現職OB・OG教員によるガイダンス等により、実践的な指導力を学ぶ

※1 教育基本法

第1条/教育の目的

教育は、人格の完成を目指し、平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた心身ともに健康な国民の育成を期して行われなければならない

第9条/教員

法律に定める学校の教員は、自己の崇高な使命を深く自覚し、絶えず研究と修養に励み、その職責の遂行に努めなければならない。

2 前項の教員については、その使命と職責の重要性にかんがみ、その身分は尊重され、待遇の適正が期せられるとともに、養成と研修の充実が図られなければならない

※2 日本国憲法

第26条

すべて国民は、法律の定めるところにより、その能力に応じて、ひとしく教育を受ける権利を有する。

② すべて国民は、法律の定めるところにより、その保護する子女に普通教育を受けさせる義務を負ふ。義務教育は、これを無償とする。

学部 (学科)	系	コース	免許状の種類及び免許教科	
			中学校教諭一種 免許状	高等学校教諭一種 免許状
都市教養 (都市教養学科)	人文・社会	社会学	社会	公民 福祉※1
		心理学・教育学	社会	公民
			国語	国語
		国際文化	社会	公民/地理歴史
			国語	国語
			中国語	中国語
			英語	英語
			ドイツ語※2	ドイツ語※2
			フランス語※2	フランス語※2
		法学	法律学	社会
	政治学		社会	公民
	経営学	経営学	社会	公民
		経済学	社会	公民
	理工学	数理科学	数学	数学 情報
			物理学	理科
		化学	理科	理科
		生命科学	理科	理科
		電気電子工学		工業※2
		機械工学		工業※2
	都市政策		社会	公民
都市環境 (都市環境学科)	地理環境	社会	地理歴史	
		理科	理科	
	都市基盤環境		工業※2	
	建築都市		工業※2	
	分子応用化学		工業※2	
	自然・文化ツーリズム	社会	地理歴史	
理科		理科		
システムデザイン (システムデザイン学科)		情報通信システム		情報
健康福祉 (看護学科)			養護教諭一種免許状	

【学部別取得可能免許教科】

2017年度(平成29年度)以前入学生

※1 高等学校教諭一種(福祉)については平成27年度(2015年度)入学生まで取得可能

※2 中学校・高等学校教諭一種(ドイツ語)、(フランス語)、高等学校教諭一種(工業)については平成29年度(2017年度)入学生まで取得可能

【学部別取得可能免許教科】
2018年度（平成30年度）以降入学生

学部	学科	免許状の種類及び免許教科		
		中学校教諭一種 免許状	高等学校教諭一種 免許状	
人文社会学部	人間社会学科	国語	国語	
		社会	公民	
	人文学科	国語	国語	
		社会	公民／地理歴史	
		英語	英語	
		中国語	中国語	
	理学部	数理科学科	数学	数学
		物理学科	理科	理科
化学科		理科	理科	
生命科学科		理科	理科	
都市環境学部	地理環境学科	社会	地理歴史	
		理科	理科	
システムデザイン学部	情報科学科		情報	
健康福祉学部	看護学科	養護教諭一種免許状※1		

※1 養護教諭一種免許状については平成30年度（2018年度）入学生まで取得可能

研究科	専攻・学域	免許状の種類及び免許教科	
		中学校教諭専修 免許状	高等学校教諭専修 免許状
人文科学研究科	社会行動学専攻	社会	公民
			福祉※1
	人間科学専攻	社会	公民
		国語	国語
		英語	英語
	文化基礎論専攻	社会	公民/地理歴史
	文化関係論専攻	国語	国語
		中国語	中国語
		英語	英語
		ドイツ語※2	ドイツ語※2
フランス語※2		フランス語※2	
社会科学研究科	法学政治学専攻	社会	公民
	経営学専攻	社会	公民
理工学研究科	数理情報科学専攻	数学	数学
	物理学専攻	理科	理科
	分子物質化学専攻	理科	理科
	生命科学専攻	理科	理科
	電気電子工学専攻		工業※2
	機械工学専攻		工業※2
都市環境科学研究科	都市環境科学専攻	地理環境科学域	社会 理科
		都市基盤環境学域	
	建築学域		工業※2
	分子応用化学域		工業※2
システムデザイン研究科	システムデザイン専攻 (情報通信システム学域)		情報

【研究科別免許教科】

2017年度（平成29年度）以前入学生

※1 高等学校教諭一種（福祉）については平成27年度（2015年度）入学生まで取得可能

※2 中学校・高等学校教諭一種（ドイツ語）、（フランス語）、高等学校教諭一種（工業）については平成29年度（2017年度）入学生まで取得可能

研究科	専攻・学域	免許状の種類及び免許教科	
		中学校教諭専修 免許状	高等学校教諭専修 免許状
人文科学研究科	社会行動学専攻	社会	公民
	人間科学専攻	国語	国語
		社会	公民
		英語	英語
	文化基礎論専攻	社会	公民／地理歴史
	文化関係論専攻	国語	国語
		英語	英語
		中国語	中国語
理学研究科	数理科学専攻	数学	数学
	物理学専攻	理科	理科
	化学専攻	理科	理科
	生命科学専攻	理科	理科
都市環境科学研究科	都市環境科学専攻 (地理環境学域)	社会	地理歴史
		理科	理科
システムデザイン研究科	システムデザイン専攻 (情報科学域)		情報

【研究科別免許教科】

2018年度(平成30年度)以降入学生

教員の養成に係る組織及び教員の数

認定を受けている 東京都立大学 学部学科等の課程【2023年度】

	学部	学科	中学校教諭 一種免許状		高等学校教諭 一種免許状	
			教科	課程認定に おける専任 教員数	教科	課程認定に おける専任 教員数
1	人文社会学部	人間社会学科	国語	4	国語	4
2			社会	10	公民	11
3		人文学科	国語	5	国語	5
4			社会	17	地理歴史	12
5					公民	5
6			英語	6	英語	6
7			中国語	5	中国語	5
8	理学部	数理学科	数学	22	数学	22
9		物理学科	理科	20	理科	20
10		化学科	理科	26	理科	26
11		生命科学科	理科	31	理科	31
12	都市環境学部	地理環境学科	社会	15	地理歴史	15
13			理科	7	理科	7
14	システムデザイン学部	情報科学科	—	—	情報	8

教員の養成に係る組織及び教員の数

認定を受けている 東京都立大学大学院 研究科専攻等の課程【2023年度】

	研究科	専攻・学域	中学校教諭 専修免許状		高等学校教諭 専修免許状	
			教科	課程認定に おける専任 教員数	教科	課程認定に おける専任 教員数
1	人文科学研究科	社会行動学専攻	社会	6	公民	6
2		人間科学専攻	国語	4	国語	4
3			社会	9	公民	10
4			英語	4	英語	4
5			文化基礎論専攻	社会	15	地理歴史
6		公民				4
7		文化関係論専攻	国語	5	国語	5
8			英語	6	英語	6
9			中国語	4	中国語	4
10	理学研究科	数理科学専攻	数学	23	数学	23
11		物理学専攻	理科	27	理科	27
12		化学専攻	理科	17	理科	17
13		生命科学専攻	理科	31	理科	31
14	都市環境科学研究科	都市環境科学専攻	社会	7	地理歴史	7
15			理科	6	理科	6
16	システムデザイン研究科	システムデザイン専攻	—	—	情報	11

2023年度 教職に関する科目一覧(2019年度以降入学生)

教科及び教職に関する科目	左項の各科目に含めることが必要な事項	最低修得単位数 ※1	本学の授業科目 ○：必修科目、 ◎：選択必修科目	履修方法備考	授業番号	単位数	担当教員		開講時期	開講曜日・時限	
							氏名	職			
教科及び教科の指導法に関する科目	各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	4(高) 8(中)	◎ 国語科指導法Ⅰ	中一種免8単位必修。高一 種免4単位選択必修。	F3058	4	青嶋 康文	非常勤講師	適年	木5	
			◎ 国語科指導法Ⅱ		F3059	4	青嶋 康文	非常勤講師	適年	木6	
			◎ 社会科指導法Ⅰ	中一種免8単位必修	F2499	4	江里 晃	非常勤講師	適年	火5	
			◎ 社会科指導法Ⅱ		F1271	4	向後 武 吉田 俊弘	非常勤講師 非常勤講師	適年	火6	
			◎ 地理歴史科指導法	高一種免4単位必修	F1272	4	根元 一幸 山田 耕太	非常勤講師 非常勤講師	適年	木5	
			◎ 公民科指導法	高一種免4単位必修	F1273	4	吉田 俊弘	非常勤講師	適年	水5	
			◎ 数学科指導法Ⅰ		I0404	2	横田 佳之	常勤教員	前期	水5	
			◎ 数学科指導法Ⅱ	中一種免8単位必修。高一 種免1及びⅣ又はⅡ及びⅢ のいずれか4単位選択必 修。	I0403	2	鈴木 登志雄	常勤教員	前期	火5	
			◎ 数学科指導法Ⅲ		I0405	2	津村 博文	常勤教員	後期	火5	
			◎ 数学科指導法Ⅳ		I0406	2	赤穂 まなぶ	常勤教員	後期	水5	
			◎ 理科指導法Ⅰ	中一種免2単位必修。高 一種免2単位必修。	I0407	2	土屋 博	非常勤講師	前期	金6	
			◎ 理科指導法Ⅱ	中一種免2単位必修	I0409	2	内記 昭彦	非常勤講師	前期	金5	
			◎ 理科指導法Ⅲ		I0411	2	松原 静郎 早崎 博之	非常勤講師 非常勤講師	後期	金5	
			◎ 理科指導法Ⅳ	中一種免4単位必修。高一 種免2単位選択必修。	I0412	2	土屋 博 野口 禎久 内記 昭彦	非常勤講師 非常勤講師 非常勤講師	後期	金6	
			◎ 情報科指導法Ⅰ	原則、偶数年度開講だが、 情報科指導法Ⅰのみ2023年 度は特別に開講。 高一種免4単位必修。	L0153	2	伏木田 稚子 松波 紀幸	常勤教員 非常勤講師	前期	金5	
			◎ 情報科指導法Ⅱ		L0154	2	新垣 愛	非常勤講師	—	—	
			◎ 英語科指導法Ⅰ	中一種免8単位必修。高一 種免4単位選択必修。	F3649	4	佐藤 遼	非常勤講師	適年	木5	
			◎ 英語科指導法Ⅱ		F3650	4	佐藤 遼	非常勤講師	適年	木6	
			◎ 中国語科指導法Ⅰ	中一種免8単位必修。高一 種免4単位選択必修。	F3332	4	田村 新	非常勤講師	適年	火1	
			◎ 中国語科指導法Ⅱ		F3333	4	田村 新	非常勤講師	適年	火2	
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	2	◎ 教育原理		F1201	2	川津 貴司	非常勤講師	前期	火5	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）	2	◎ 教職入門		F1202	2	谷脇 由季子	非常勤講師	前期	水6	
					F1269	2	竹浪 隆良	非常勤教員	後期	火5	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）	2	◎ 教育の制度と社会		F1270	2	風巻 浩	非常勤教員	前期	木6	
					F1203	2	荒井 文昭	常勤教員	後期	水6	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	2	○ 教育心理学	1科目選択必修	F1204	2	沼田 あや子	非常勤講師	前期	金5	
					F1206	2	沼田 あや子	非常勤講師	後期	月6	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	1	◎ 特別支援教育論		F1207	2	三好 昭子	非常勤講師	夏季集中	—	
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	2	◎ 教育課程論		F1221	1	河合 隆平	常勤教員	後期Ⅱ	木6	
					F1211	2	李 舜志	非常勤講師	前期	水5	
				F1212	2	李 舜志	非常勤講師	後期	水5		
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	2(中)	◎ 道徳教育の理論と方法	中免取得者のみ必修	F1213	2	竹原 幸太	常勤教員	前期	水5	
					F1214	2	竹原 幸太	常勤教員	後期	水5	
	総合的な学習の時間の指導法	中学校	◎ 総合的な学習の時間の指導法		F1222	1	田辺 基子	非常勤講師	前期Ⅱ	水6	
	総合的な探究の時間の指導法	高等学校									
	特別活動の指導法	2	◎ 特別活動論		F1217	2	杉田 真衣	常勤教員	後期	金6	
					F1218	2	絹村 俊明	非常勤教員	前期	火6	
	教育の方法及び技術	1	◎ 教育方法論		F1208	1	劉 博昊	非常勤講師	前期Ⅱ	月6	
					F1209	1	劉 博昊	非常勤講師	後期Ⅰ	金5	
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	1	◎ 情報通信技術活用の理論と方法		F1210	1	坂本 旬	非常勤講師	夏季集中	—	
	生徒指導の理論及び方法	2	◎ 進路指導・生徒指導	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法を含む。	F1215	2	三浦 芳恵	非常勤講師	前期	金5	
F1216					2	杉田 真衣	常勤教員	前期	金6		
教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	2	◎ 教育相談		F1219	2	波田野 茂幸	非常勤講師	夏季集中	—		
				F1220	2	芝 菫子	非常勤講師	前期	火5		
進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	—	—	—								
教育実践に関する科目	教育実習	3(高)	◎ 教育実習Ⅰ	事前・事後指導1単位を含む。中免取得者Ⅱ必修。高免取得者3単位以上選択必修。	F1275	3	杉田 真衣 田中 浩司	常勤教員 常勤教員	集中 (期間未定)	—	
		5(中)	◎ 教育実習Ⅱ		F1274	5	杉田 真衣 田中 浩司	常勤教員 常勤教員	集中 (期間未定)	—	
	教職実践演習	2	◎ 教職実践演習（中・高）			I0368	2	福田 公子	常勤教員	夏季集中	—
								辻本 昭彦	非常勤講師		
								内記 昭彦	非常勤講師		
I0369	2				I0369	2	絹村 俊明	非常勤教員	後期	木5～6	
							風巻 浩	非常勤教員			
							小林 正典	常勤教員			
							土屋 博	非常勤講師			
							絹村 俊明	非常勤教員			
							風巻 浩	非常勤教員			
							絹村 俊明	非常勤教員	後期	火5～6	

別添：学科・免許種・教科別【教科及び教科の指導法に関する科目】科目一覧

(P.7 1 (1) 【教科及び教科の指導法に関する科目】 ① 表7)

◆人文社会学部

人間社会学科

中学校一種免（国語）／高等学校一種免（国語）	15
中学校一種免（社会）	17
高等学校一種免（公民）	18

人文学科

中学校一種免（国語）／高等学校一種免（国語）	19
中学校一種免（社会）	21
高等学校一種免（地理歴史）	24
高等学校一種免（公民）	26
中学校一種免（英語）／高等学校一種免（英語）	27
中学校一種免（中国語）／高等学校一種免（中国語）	29

◆理学部

数理科学科

中学校一種免（数学）／高等学校一種免（数学）	30
------------------------	----

物理学科

中学校一種免（理科）	31
高等学校一種免（理科）	32

化学科

中学校一種免（理科）	33
高等学校一種免（理科）	34

生命科学科

中学校一種免（理科）	35
高等学校一種免（理科）	37

◆都市環境学部

地理環境学科

中学校一種免（社会）	39
高等学校一種免（地理歴史）	40
中学校一種免（理科）	41
高等学校一種免（理科）	42

◆システムデザイン学部

情報科学科

高等学校一種免（情報）	43
-------------	----

人文社会学部 人間社会学科
 中学校一種免／高等学校一種免（国語）

- * 中学校教諭一種免許状は、【教科に関する専門的事項】22単位以上、【各教科の指導演法】8単位の計30単位以上修得すること。【教科に関する専門的事項】は、◎必修科目、○選択必修科目の単位を14単位以上、残りの8単位はどの【各科目に含めることが必要な事項】から修得してもよい。
- * 高等学校教諭一種免許状は、【教科に関する専門的事項】30単位以上、【各教科の指導演法】4単位以上の計34単位以上修得すること。【教科に関する専門的事項】は、◎必修科目、○選択必修科目の単位を10単位以上、残りの20単位はどの【各科目に含めることが必要な事項】から修得してもよい。ただし、【書道（書写を中心とする。）】を除く。また、【各教科の指導演法】の単位を【教科に関する専門的事項】の30単位に含むことはできない。
- * 『国語科指導演法Ⅰ、Ⅱ』の単位は、卒業に必要な単位として加算されない。

免許法施行規則に定める科目区分		左記に対応する 本学の授業科目	単位数	履修方法	備考
科目区分	各科目に含めることが 必要な事項				
教科に関する専門的事項	国語学（音声言語及び文章表現に関するものを含む。）	◎日本語学概論<101>	2	1科目選択必修	
		◎日本語学概論<102>	2		
		○日本語表現法Ⅰ	2		
		○日本語表現法Ⅱ	2		
		日本語学概論<101>	2		
		日本語学概論<102>	2		
		日本語学講義<101>	2		
		日本語学講義<102>	2		
		日本語学講義<103>	2		
		日本語学講義<104>	2		
		日本語学演習<101>	2		
		日本語学演習<102>	2		
		日本語学演習<103>	2		
		日本語学演習<104>	2		
		音韻論Ⅰ	2		
		生成言語理論<101>	2		
		生成言語理論<102>	2		
	比較統語論Ⅰ	2			
	国文学（国文学史を含む。）	○日本文学史A<101>	2	1科目選択必修	
		○日本文学史A<102>	2		
		○日本文学史A<103>	2		
		○日本文学史A<104>	2		
		○日本文学史A<105>	2		
		日本語文化概論ⅡA<101>	2		
		日本語文化概論ⅡA<102>	2		
		日本語文化概論ⅡA<105>	2		
		日本古典A<102>	2		
		日本古典A<103>	2		
		日本古典A<104>	2		
		日本古典A<105>	2		
		日本文学講義ⅠA<102>	2		
		日本文学講義ⅠA<103>	2		
		日本文学講義ⅠA<104>	2		
日本文学講義ⅠA<105>		2			
日本文学講義ⅠA<106>	2				
日本文学講義ⅡA<101>	4				
日本文学演習ⅠA<101>	2				
日本文学演習ⅠA<102>	2				
日本文学演習ⅠA<103>	2				
日本文学演習ⅠA<104>	2				

	日本文学演習ⅠA<105>	2	
	日本文学演習ⅠA<106>	2	
	日本文学演習ⅡA<102>	4	
	日本文学演習ⅡA<103>	4	
	日本文学演習ⅡA<104>	4	
	日本文学演習ⅡA<105>	4	
	日本文化特殊講義A<901>	2	
	日本文化特殊講義A<902>	2	
	日本文化特殊講義A<903>	2	
	日本文化特殊講義A<904>	2	
	日本文化特殊講義A<905>	2	
	日本文化特殊講義A<906>	2	
	日本文化特殊講義A<907>	2	
	日本文化特殊講義A<908>	2	
漢文学	○漢文学	2	} 1科目選択必修
	○中国古典Ⅱ	2	
書道（書写を中心とする。）	◎書道	4	中一種免必修。 中一種免の単位としてのみ認定される。
各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	◎○国語科指導法Ⅰ	4	} 中一種免2科目8単位必修。 高一種免いずれか1科目4単位選択必修。
	◎○国語科指導法Ⅱ	4	

※“同一科目名の科目”及び“同一科目名・同一識別番号< >の科目”の修得単位について、教員免許状の所要資格として計上できる単位数は、学部規則及び履修の手引の記載において重複履修可の科目であっても、単位数「2」の科目ならば2単位、単位数「4」の科目ならば4単位を限度とする。

※類似した名称の授業科目が存在するため、取得予定の免許種の表に記載の科目名の科目を履修申請すること。

異なる名称の科目を履修した場合、単位を修得しても教員免許取得に使用できないので注意すること。

人文社会学部 人間社会学科
中学校一種免（社会）

- *【教科に関する専門的事項】22単位以上、【各教科の指導法】8単位の計30単位以上修得すること。
*『社会科指導法Ⅰ、Ⅱ』の単位は、卒業に必要な単位として加算されない。

免許法施行規則に定める科目区分		左記に対応する 本学の授業科目	単位数	履修方法	備考
科目 区分	各科目に含めること が必要な事項				
教科に関する専門的事項	日本史・外国史	◎日本史概説A	2		
		◎外国史概説（東洋史）A	2		
		◎外国史概説（西洋史）A	2		
	地理学（地誌を含む。）	◎地理学概説Ⅰ	2		都市環境学部 都市環境学部 都市環境学部
		◎地理学概説Ⅱ	2		
		◎地誌学概説	2		
	「法学、政治学」	◎政治学	4		法学部
		教育行政学Ⅰ	2		
		教育行政学Ⅱ	2		
	「社会学、経済学」	○社会学原論Ⅰ	2	1科目選択必修	
		○社会学原論Ⅱ	2		
		社会人類学基礎演習<101>	4		
		社会人類学基礎演習<901>	4		
		社会人類学A	2		
		社会人類学B	2		
		民俗学特殊講義	2		
		地域研究特殊講義	2		
		民族誌特殊講義	2		
		文化人類学特殊講義	2		
		社会人類学特殊講義	2		
		文化人類学演習Ⅰ	4		
		文化人類学演習Ⅱ	4		
		社会人類学演習Ⅰ	4		
		社会人類学演習Ⅱ	4		
		フィールド文化論演習	4		
		地域研究演習	4		
		民族誌研究演習	4		
		教育社会学	2		
		生涯学習概論Ⅰ	2		
		生涯学習概論Ⅱ	2		
		生涯学習支援論Ⅰ	2		
		生涯学習支援論Ⅱ	2		
		社会教育学特殊講義Ⅰ	2		
		市民社会と社会教育	2		
		青少年問題と社会教育	2		
		環境問題と社会教育	2		
		社会教育学演習<101>	4		
		社会教育学演習<102>	4		
	「哲学、倫理学、宗教学」	○哲学（古代中世Ⅰ）	2	1科目選択必修	
		○哲学（古代中世Ⅱ）	2		
		○哲学（近世Ⅰ）	2		
		○哲学（近世Ⅱ）	2	1科目選択必修	
		哲学（美学）	4		
		哲学（日本倫理思想史）	4		
		教育哲学	2		
	各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	◎社会科指導法Ⅰ	4		
		◎社会科指導法Ⅱ	4		

- ※“同一科目名の科目”及び“同一科目名・同一識別番号< >の科目”の修得単位について、教員免許状の所要資格として計上できる単位数は、学部規則及び履修の手引の記載において重複履修可の科目であっても、単位数「2」の科目ならば2単位、単位数「4」の科目ならば4単位を限度とする。
- ※備考欄に「全学共通科目」又は学部名称が記載されている授業科目についての情報は、「全学共通科目」又は備考欄記載学部の授業案内（シラバス）及び掲示板を確認すること。
- ※類似した名称の授業科目が存在するため、取得予定の免許種の表に記載の科目名の科目を履修申請すること。異なる名称の科目を履修した場合、単位を修得しても教員免許取得に使用できないので注意すること。

人文社会学部 人間社会学科
高等学校一種免（公民）

- * 【教科に関する専門的事項】30単位以上、【各教科の指導法】4単位の計34単位以上修得すること。
【教科に関する専門的事項】は、◎必修科目、○選択必修科目の単位を10単位以上、残りの20単位はどの【各科目に含めることが必要な事項】から修得してもよい。
* 『公民科指導法』の単位は、卒業に必要な単位として加算されない。

免許法施行規則に定める科目区分		左記に対応する 本学の授業科目	単位数	履修方法	備考
科目 区分	各科目に含めること が必要な事項				
教科に関する専門的事項	「法学（国際法を含む。）、 政治学（国際政治を含む。）」	◎政治学	4		法学部
		◎教育行政学Ⅰ	2		
		◎教育行政学Ⅱ	2		
	「社会学、経済学（国際経 済を含む。）」	○社会学原論Ⅰ	2	1科目選択必修	
		○社会学原論Ⅱ	2		
		社会人類学基礎演習<101>	4		
		社会人類学基礎演習<901>	4		
		社会人類学A	2		
		社会人類学B	2		
		民俗学特殊講義	2		
		地域研究特殊講義	2		
		民族誌特殊講義	2		
		文化人類学特殊講義	2		
		社会人類学特殊講義	2		
		文化人類学演習Ⅰ	4		
		文化人類学演習Ⅱ	4		
		社会人類学演習Ⅰ	4		
		社会人類学演習Ⅱ	4		
		フィールド文化論演習	4		
		地域研究演習	4		
		民族誌研究演習	4		
		教育社会学	2		
		生涯学習概論Ⅰ	2		
		生涯学習概論Ⅱ	2		
		生涯学習支援論Ⅰ	2		
		生涯学習支援論Ⅱ	2		
		社会教育学特殊講義Ⅰ	2		
		市民社会と社会教育	2		
		青少年問題と社会教育	2		
		環境問題と社会教育	2		
	社会教育学演習<101>	4			
	社会教育学演習<102>	4			
	「哲学、倫理学、宗教学、 心理学」	○哲学（古代中世Ⅰ）	2	1科目選択必修	
		○哲学（古代中世Ⅱ）	2		
○哲学（近世Ⅰ）		2	1科目選択必修		
○哲学（近世Ⅱ）		2			
哲学（美学）		4			
哲学（日本倫理思想史）		4			
発達心理学		2			
臨床発達学演習		4			
教育哲学	2				
各教科の指導法（情報通信技術の 活用を含む。）		◎公民科指導法	4		

- ※“同一科目名の科目”及び“同一科目名・同一識別番号< >の科目”の修得単位について、教員免許状の所要資格として計上できる単位数は、学部規則及び履修の手引の記載において重複履修可の科目であっても、単位数「2」の科目ならば2単位、単位数「4」の科目ならば4単位を限度とする。
※備考欄に「全学共通科目」又は学部名称が記載されている授業科目についての情報は、「全学共通科目」又は備考欄記載学部の授業案内（シラバス）及び掲示板を確認すること。
※類似した名称の授業科目が存在するため、取得予定の免許種の表に記載の科目名の科目を履修申請すること。
異なる名称の科目を履修した場合、単位を修得しても教員免許取得に使用できないので注意すること。

人文社会学部 人文学科

中学校一種免／高等学校一種免（国語）

- * 中学校教諭一種免許状は、【教科に関する専門的事項】22単位以上、【各教科の指導法】8単位の計30単位以上修得すること。【教科に関する専門的事項】は、◎必修科目、○選択必修科目の単位を14単位以上、残りの8単位はどの【各科目に含めることが必要な事項】から修得してもよい。
- * 高等学校教諭一種免許状は、【教科に関する専門的事項】30単位以上、【各教科の指導法】4単位以上の計34単位以上修得すること。【教科に関する専門的事項】は、◎必修科目、○選択必修科目の単位を10単位以上、残りの20単位はどの【各科目に含めることが必要な事項】から修得してもよい。ただし、【書道（書写を中心とする。）】を除く。また、【各教科の指導法】の単位を【教科に関する専門的事項】の30単位に含むことはできない。
- * 『国語科指導法Ⅰ、Ⅱ』の単位は、卒業に必要な単位として加算されない。

免許法施行規則に定める科目区分		左記に対応する 本学の授業科目	単位数	履修方法	備考
科目 区分	各科目に含めることが 必要な事項				
教科に関する専門的事項	国語学（音声言語及び文章表現に関するものを含む。）	◎日本語文化概論Ⅰ	2		
		◎言語表現法Ⅰ	2		
		◎言語表現法Ⅱ	2		
		日本語学特殊講義<901>	2		
		日本語学特殊講義<902>	2		
		日本語学特殊講義<903>	2		
		日本語学特殊講義<904>	2		
		日本語学講義<101>	2		
		日本語学講義<102>	2		
		日本語学講義<103>	2		
		日本語学演習Ⅰ<101>	2		
		日本語学演習Ⅰ<102>	2		
		日本語学演習Ⅱ	4		
	国文学（国文学史を含む。）	○日本文学史<101>	2	1科目選択必修	
		○日本文学史<102>	2		
		○日本文学史<103>	2		
		○日本文学史<104>	2		
		○日本文学史<105>	2		
		日本語文化概論Ⅱ<101>	2		
		日本語文化概論Ⅱ<102>	2		
		日本語文化概論Ⅱ<103>	2		
		日本語文化概論Ⅱ<104>	2		
		日本語文化概論Ⅱ<105>	2		
		日本語文化概論Ⅱ<106>	2		
		日本古典<102>	2		
		日本古典<103>	2		
		日本古典<104>	2		
		日本古典<105>	2		
		日本文学講義Ⅰ<102>	2		
		日本文学講義Ⅰ<103>	2		
		日本文学講義Ⅰ<104>	2		
		日本文学講義Ⅰ<105>	2		
日本文学講義Ⅰ<106>	2				
日本文学講義Ⅱ<101>	4				
日本文学演習Ⅰ<101>	2				
日本文学演習Ⅰ<102>	2				
日本文学演習Ⅰ<103>	2				
日本文学演習Ⅰ<104>	2				
日本文学演習Ⅰ<105>	2				

	日本文学演習Ⅰ<106>	2	
	日本文学演習Ⅰ<107>	2	
	日本文学演習Ⅱ<102>	4	
	日本文学演習Ⅱ<103>	4	
	日本文学演習Ⅱ<104>	4	
	日本文学演習Ⅱ<105>	4	
	日本文化特殊講義<901>	2	
	日本文化特殊講義<902>	2	
	日本文化特殊講義<903>	2	
	日本文化特殊講義<904>	2	
	日本文化特殊講義<905>	2	
	日本文化特殊講義<906>	2	
	日本文化特殊講義<907>	2	
	日本文化特殊講義<908>	2	
漢文学	○漢文学	2	} 1科目選択必修
	○中国古典Ⅱ	2	
書道（書写を中心とする。）	◎書道	4	中一種免必修。 中一種免の単位としての み認定される。
各教科の指導法（情報通信技術の 活用を含む。）	◎○国語科指導法Ⅰ	4	} 中一種免2科目8単位 必修。 高一種免いずれか 1科目4単位選択必修。
	◎○国語科指導法Ⅱ	4	

※“同一科目名の科目”及び“同一科目名・同一識別番号< >の科目”の修得単位について、教員免許状の所要資格として計上できる単位数は、学部規則及び履修の手引の記載において重複履修可の科目であっても、単位数「2」の科目ならば2単位、単位数「4」の科目ならば4単位を限度とする。

※類似した名称の授業科目が存在するため、取得予定の免許種の表に記載の科目名の科目を履修申請すること。

異なる名称の科目を履修した場合、単位を修得しても教員免許取得に使用できないので注意すること。

人文社会学部 人文学科
中学校一種免（社会）

- * 【教科に関する専門的事項】 22単位以上、【各教科の指導法】 8単位の計30単位以上修得すること。
* 『社会科指導法Ⅰ、Ⅱ』の単位は、卒業に必要な単位として加算されない。

免許法施行規則に定める科目区分		左記に対応する 本学の授業科目	単位数	履修方法	備考
科目 区分	各科目に含めることが 必要な事項				
教科に関する専門的事項	日本史・外国史	◎日本史概説	2		
		◎外国史概説（東洋史）	2		
		◎外国史概説（西洋史）	2		
		歴史学概論<102>	2		
		歴史学方法論<101>	2		
		歴史学方法論<102>	2		
		考古学概論	2		
		考古学方法論	2		
		日本文化史	2		
		古文書学	4		
		日本史学特殊講義Ⅰ<101>	2		
		日本史学特殊講義Ⅰ<901>	2		
		日本史学特殊講義Ⅱ<101>	2		
		日本史学特殊講義Ⅱ<901>	2		
		日本史学特殊講義Ⅲ	2		
		日本史学特殊講義Ⅳ	2		
		東洋史学特殊講義Ⅰ<101>	2		
		東洋史学特殊講義Ⅰ<901>	2		
		東洋史学特殊講義Ⅱ<101>	2		
		東洋史学特殊講義Ⅱ<901>	2		
		東洋史学特殊講義Ⅱ<902>	2		
		東洋史学特殊講義Ⅲ<101>	2		
		東洋史学特殊講義Ⅲ<901>	2		
		西洋史学特殊講義Ⅰ<101>	2		
		西洋史学特殊講義Ⅰ<102>	2		
		西洋史学特殊講義Ⅰ<103>	2		
		西洋史学特殊講義Ⅱ<101>	2		
		西洋史学特殊講義Ⅱ<901>	2		
		西洋史学特殊講義Ⅱ<902>	2		
		西洋史学特殊講義Ⅱ<903>	2		
		西洋史学特殊講義Ⅱ<904>	2		
		考古学特殊講義Ⅰ<101>	2		
		考古学特殊講義Ⅰ<102>	2		
		考古学特殊講義Ⅰ<901>	2		
		考古学特殊講義Ⅰ<902>	2		
		考古学特殊講義Ⅰ<903>	2		
		考古学特殊講義Ⅱ<101>	2		
		考古学特殊講義Ⅱ<102>	2		
		考古学特殊講義Ⅱ<901>	2		
		考古学特殊講義Ⅱ<902>	2		
		日本史学演習Ⅰ<101>	2		
		日本史学演習Ⅰ<102>	2		
日本史学演習Ⅰ<103>	2				
日本史学演習Ⅰ<104>	2				
日本史学演習Ⅰ<901>	2				
日本史学演習Ⅰ<902>	2				
日本史学演習Ⅱ<101>	2				
日本史学演習Ⅱ<102>	2				

	日本史学演習Ⅱ<103>	2		
	日本史学演習Ⅱ<104>	2		
	日本史学演習Ⅲ<101>	2		
	日本史学演習Ⅲ<102>	2		
	日本史学演習Ⅲ<103>	2		
	日本史学演習Ⅲ<104>	2		
	日本史学演習Ⅳ<101>	2		
	日本史学演習Ⅳ<102>	2		
	日本史学演習Ⅳ<103>	2		
	日本史学演習Ⅳ<104>	2		
	東洋史学演習Ⅰ<101>	2		
	東洋史学演習Ⅰ<102>	2		
	東洋史学演習Ⅰ<103>	2		
	東洋史学演習Ⅰ<104>	2		
	東洋史学演習Ⅱ<101>	2		
	東洋史学演習Ⅱ<102>	2		
	東洋史学演習Ⅱ<103>	2		
	東洋史学演習Ⅱ<104>	2		
	東洋史学演習Ⅲ<101>	2		
	東洋史学演習Ⅲ<102>	2		
	東洋史学演習Ⅲ<103>	2		
	東洋史学演習Ⅲ<104>	2		
	西洋史学演習Ⅰ<101>	2		
	西洋史学演習Ⅰ<102>	2		
	西洋史学演習Ⅰ<103>	2		
	西洋史学演習Ⅰ<104>	2		
	西洋史学演習Ⅰ<105>	2		
	西洋史学演習Ⅰ<106>	2		
	西洋史学演習Ⅰ<107>	2		
	西洋史学演習Ⅰ<108>	2		
	西洋史学演習Ⅱ<101>	2		
	西洋史学演習Ⅱ<102>	2		
	西洋史学演習Ⅱ<103>	2		
	西洋史学演習Ⅱ<104>	2		
	西洋史学演習Ⅱ<105>	2		
	考古学演習Ⅰ<101>	2		
	考古学演習Ⅰ<102>	2		
	考古学演習Ⅱ<101>	2		
	考古学演習Ⅱ<102>	2		
地理学（地誌を含む。）	◎地理学概説Ⅰ	2	都市環境学部	
	◎地理学概説Ⅱ	2	都市環境学部	
	◎地誌学概説	2	都市環境学部	
「法学、政治学」	◎政治学	4	法学部	
「社会学、経済学」	○社会学原論ⅠA	2	} 1科目選択必修	
	○社会学原論ⅡA	2		
「哲学、倫理学、宗教学」	○古代中世哲学Ⅰ	2	} 1科目選択必修	
	○古代中世哲学Ⅱ	2		
	○近世哲学Ⅰ	2		} 1科目選択必修
	○近世哲学Ⅱ	2		
	美学	4		
	西洋古典学概説Ⅰ	2		
	西洋古典学概説Ⅱ	2		
	日本倫理思想史	4		
	哲学史演習（古代中世）	4		
	哲学史演習（英米）	4		
	哲学史演習（ドイツ）	4		
	哲学史演習（フランス）	4		
	哲学演習（論理哲学）	4		

	哲学演習（言語哲学）	4	
	倫理学演習	4	
	哲学史特殊講義（古代・中世）	4	
	哲学史特殊講義（英米）	4	
	哲学史特殊講義（ドイツ）	4	
	哲学史特殊講義（フランス）	4	
	哲学特殊講義（言語哲学）	4	
	哲学特殊講義（論理哲学）＜101＞	4	
	哲学特殊講義（論理哲学）＜102＞	4	
	倫理学特殊講義	4	
各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	◎社会科指導法Ⅰ	4	
	◎社会科指導法Ⅱ	4	

※“同一科目名の科目”及び“同一科目名・同一識別番号＜ ＞の科目”の修得単位について、教員免許状の所要資格として計上できる単位数は、学部規則及び履修の手引の記載において重複履修可の科目であっても、単位数「2」の科目ならば2単位、単位数「4」の科目ならば4単位を限度とする。

※備考欄に「全学共通科目」又は学部名称が記載されている授業科目についての情報は、「全学共通科目」又は備考欄記載学部の授業案内（シラバス）及び掲示板を確認すること。

※類似した名称の授業科目が存在するため、取得予定の免許種の表に記載の科目名の科目を履修申請すること。

異なる名称の科目を履修した場合、単位を修得しても教員免許取得に使用できないので注意すること。

人文社会学部 人文学科
高等学校一種免（地理歴史）

- * 【教科に関する専門的事項】30単位以上、【各教科の指導法】4単位の計34単位以上修得すること。
【教科に関する専門的事項】は、◎必修科目の単位を12単位、残りの18単位ほどの【各科目に含めることが必要な事項】から修得してもよい。
- * 『地理歴史科指導法』の単位は、卒業に必要な単位として加算されない。

免許法施行規則に定める科目区分		左記に対応する 本学の授業科目	単位数	履修方法	備考
科目 区分	各科目に含めることが 必要な事項				
教科に関する専門的事項	日本史	◎日本史概説	2		
		日本文化史	2		
		考古学概論	2		
		考古学方法論	2		
		古文書学	4		
		日本史学特殊講義Ⅰ<101>	2		
		日本史学特殊講義Ⅰ<901>	2		
		日本史学特殊講義Ⅱ<101>	2		
		日本史学特殊講義Ⅱ<901>	2		
		日本史学特殊講義Ⅲ	2		
		日本史学特殊講義Ⅳ	2		
		考古学特殊講義Ⅰ<101>	2		
		考古学特殊講義Ⅰ<102>	2		
		考古学特殊講義Ⅰ<901>	2		
		考古学特殊講義Ⅰ<902>	2		
		考古学特殊講義Ⅰ<903>	2		
		考古学特殊講義Ⅱ<101>	2		
		考古学特殊講義Ⅱ<102>	2		
		考古学特殊講義Ⅱ<901>	2		
		考古学特殊講義Ⅱ<902>	2		
		日本史学演習Ⅰ<101>	2		
		日本史学演習Ⅰ<102>	2		
		日本史学演習Ⅰ<103>	2		
		日本史学演習Ⅰ<104>	2		
		日本史学演習Ⅰ<901>	2		
		日本史学演習Ⅰ<902>	2		
		日本史学演習Ⅱ<101>	2		
		日本史学演習Ⅱ<102>	2		
		日本史学演習Ⅱ<103>	2		
		日本史学演習Ⅱ<104>	2		
		日本史学演習Ⅲ<101>	2		
		日本史学演習Ⅲ<102>	2		
		日本史学演習Ⅲ<103>	2		
		日本史学演習Ⅲ<104>	2		
		日本史学演習Ⅳ<101>	2		
		日本史学演習Ⅳ<102>	2		
		日本史学演習Ⅳ<103>	2		
		日本史学演習Ⅳ<104>	2		
		考古学演習Ⅰ<101>	2		
		考古学演習Ⅰ<102>	2		
		考古学演習Ⅱ<101>	2		
		考古学演習Ⅱ<102>	2		

外国史	◎外国史概説（東洋史）	2	
	◎外国史概説（西洋史）	2	
	歴史学概論<102>	2	
	歴史学方法論<101>	2	
	歴史学方法論<102>	2	
	東洋史学特殊講義Ⅰ<101>	2	
	東洋史学特殊講義Ⅰ<901>	2	
	東洋史学特殊講義Ⅱ<101>	2	
	東洋史学特殊講義Ⅱ<901>	2	
	東洋史学特殊講義Ⅱ<902>	2	
	東洋史学特殊講義Ⅲ<101>	2	
	東洋史学特殊講義Ⅲ<901>	2	
	西洋史学特殊講義Ⅰ<101>	2	
	西洋史学特殊講義Ⅰ<102>	2	
	西洋史学特殊講義Ⅰ<103>	2	
	西洋史学特殊講義Ⅱ<101>	2	
	西洋史学特殊講義Ⅱ<901>	2	
	西洋史学特殊講義Ⅱ<902>	2	
	西洋史学特殊講義Ⅱ<903>	2	
	西洋史学特殊講義Ⅱ<904>	2	
	東洋史学演習Ⅰ<101>	2	
	東洋史学演習Ⅰ<102>	2	
	東洋史学演習Ⅰ<103>	2	
	東洋史学演習Ⅰ<104>	2	
	東洋史学演習Ⅱ<101>	2	
	東洋史学演習Ⅱ<102>	2	
	東洋史学演習Ⅱ<103>	2	
	東洋史学演習Ⅱ<104>	2	
	東洋史学演習Ⅲ<101>	2	
	東洋史学演習Ⅲ<102>	2	
	東洋史学演習Ⅲ<103>	2	
	東洋史学演習Ⅲ<104>	2	
	西洋史学演習Ⅰ<101>	2	
	西洋史学演習Ⅰ<102>	2	
	西洋史学演習Ⅰ<103>	2	
	西洋史学演習Ⅰ<104>	2	
	西洋史学演習Ⅰ<105>	2	
	西洋史学演習Ⅰ<106>	2	
	西洋史学演習Ⅰ<107>	2	
	西洋史学演習Ⅰ<108>	2	
	西洋史学演習Ⅱ<101>	2	
	西洋史学演習Ⅱ<102>	2	
	西洋史学演習Ⅱ<103>	2	
西洋史学演習Ⅱ<104>	2		
西洋史学演習Ⅱ<105>	2		
人文地理学・自然地理学	◎地理学概説Ⅰ	2	都市環境学部
	◎地理学概説Ⅱ	2	都市環境学部
地誌	◎地誌学概説	2	都市環境学部
各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	◎地理歴史科指導法	4	

※“同一科目名の科目”及び“同一科目名・同一識別番号< >の科目”の修得単位について、教員免許状の所要資格として計上できる単位数は、学部規則及び履修の手引の記載において重複履修可の科目であっても、単位数「2」の科目ならば2単位、単位数「4」の科目ならば4単位を限度とする。

※備考欄に「全学共通科目」又は学部名称が記載されている授業科目についての情報は、「全学共通科目」又は備考欄記載学部の授業案内（シラバス）及び掲示板を確認すること。

※類似した名称の授業科目が存在するため、取得予定の免許種の表に記載の科目名の科目を履修申請すること。異なる名称の科目を履修した場合、単位を修得しても教員免許取得に使用できないので注意すること。

人文社会学部 人文学科
高等学校一種免（公民）

- * 【教科に関する専門的事項】 30単位以上、【各教科の指導法】 4単位の計34単位以上修得すること。
【教科に関する専門的事項】は、◎必修科目、○選択必修科目の単位を10単位以上、残りの20単位はどの【各科目に含めることが必要な事項】から修得してもよい。
- * 『公民科指導法』の単位は、卒業に必要な単位として加算されない。

免許法施行規則に定める科目区分		左記に対応する 本学の授業科目	単位数	履修方法	備考
科目 区分	各科目に含めることが 必要な事項				
教科に関する専門的事項	「法学（国際法を含む。）、 政治学（国際政治を含む。）」	◎政治学	4		法学部
	「社会学、経済学（国際経済を含む。）」	○社会学原論ⅠA	2	1科目選択必修	
		○社会学原論ⅡA	2		
	「哲学、倫理学、宗教学、 心理学」	○古代中世哲学Ⅰ	2	1科目選択必修	
		○古代中世哲学Ⅱ	2		
		○近世哲学Ⅰ	2	1科目選択必修	
		○近世哲学Ⅱ	2		
		美学	4		
		西洋古典学概説Ⅰ	2		
		西洋古典学概説Ⅱ	2		
		日本倫理思想史	4		
		哲学史演習（古代中世）	4		
		哲学史演習（英米）	4		
		哲学史演習（ドイツ）	4		
		哲学史演習（フランス）	4		
		哲学演習（論理哲学）	4		
		哲学演習（言語哲学）	4		
		倫理学演習	4		
		哲学史特殊講義（古代・中世）	4		
	哲学史特殊講義（英米）	4			
	哲学史特殊講義（ドイツ）	4			
	哲学史特殊講義（フランス）	4			
	哲学特殊講義（言語哲学）	4			
哲学特殊講義（論理哲学）<101>	4				
哲学特殊講義（論理哲学）<102>	4				
倫理学特殊講義	4				
各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	◎公民科指導法	4			

- ※“同一科目名の科目”及び“同一科目名・同一識別番号< >の科目”の修得単位について、教員免許状の所要資格として計上できる単位数は、学部規則及び履修の手引の記載において重複履修可の科目であっても、単位数「2」の科目ならば2単位、単位数「4」の科目ならば4単位を限度とする。
- ※備考欄に「全学共通科目」又は学部名称が記載されている授業科目についての情報は、「全学共通科目」又は備考欄記載学部の授業案内（シラバス）及び掲示板を確認すること。
- ※類似した名称の授業科目が存在するため、取得予定の免許種の表に記載の科目名の科目を履修申請すること。
異なる名称の科目を履修した場合、単位を修得しても教員免許取得に使用できないので注意すること。

人文社会学部 人文学科

中学校一種免／高等学校一種免（英語）

- * 中学校教諭一種免許状は、【教科に関する専門的事項】22単位以上、【各教科の指導法】8単位の計30単位以上修得すること。【教科に関する専門的事項】は、◎必修科目、○選択必修科目の単位を14単位以上、残りの8単位はどの【各科目に含めることが必要な事項】から修得してもよい。
- * 高等学校教諭一種免許状は、【教科に関する専門的事項】30単位以上、【各教科の指導法】4単位の計34単位以上修得すること。【教科に関する専門的事項】は、◎必修科目、○選択必修科目の単位を14単位以上、残りの16単位はどの【各科目に含めることが必要な事項】から修得してもよい。なお、【各教科の指導法】の単位を【教科に関する専門的事項】の30単位に含むことはできない。
- * 『英語科指導法Ⅰ、Ⅱ』の単位は、卒業に必要な単位として加算されない。

免許法施行規則に定める科目区分		左記に対応する 本学の授業科目	単位数	履修方法	備考			
科目 区分	各科目に含めることが 必要な事項							
教科に関する専門的事項	英語学	◎英語学概論	4					
		英語史	4					
		言語科学概論<901>	2					
		言語科学概論<902>	2					
		音韻論基礎<101>	2					
		音韻論基礎<102>	2					
		言語科学文献講読<101>	2					
		言語科学文献講読<102>	2					
		音韻論Ⅱ	2					
	英語文学	○英語圏文学史Ⅰ	4	1科目選択必修				
		○英語圏文学史Ⅱ	4					
		英語圏文学論A<101>	2					
		英語圏文学論A<901>	2					
		英語圏文学論B<101>	2					
		英語圏文学論B<901>	2					
		英語圏文学演習<101>	2					
		英語圏文学演習<102>	2					
		英語圏文学演習<103>	2					
		英語圏文学演習<104>	2					
		英語圏文学演習<105>	2					
		英語圏文学演習<106>	2					
		英語圏文学演習<107>	2					
		英語圏文学演習<108>	2					
		英語圏文学演習<901>	2					
		英語圏文学演習<902>	2					
		英語圏文学演習<903>	2					
		英語圏文学演習<904>	2					
		英語コミュニケーション	○英会話Ⅰ<101>			2	1科目選択必修	
			○英会話Ⅰ<102>			2		
			○英会話Ⅰ<901>			2		
	○英会話Ⅰ<902>		2					
	○英作文Ⅰ<101>		2	1科目選択必修				
	○英作文Ⅰ<102>		2					
○英作文Ⅰ<901>	2							
○英作文Ⅰ<902>	2							
○英作文Ⅰ<903>	2							
○英作文Ⅰ<904>	2							
英語コミュニケーション論	4							
英語表現論	4							

異文化理解	◎英語圏の文化	2	全学共通科目
	英語圏文化論 A	2	
	英語圏文化論 B <101>	2	
	英語圏文化論 B <901>	2	
	英語圏文化演習 <101>	2	
	英語圏文化演習 <102>	2	
	英語圏文化演習 <103>	2	
	英語圏文化演習 <104>	2	
	英語圏文化演習 <901>	2	
	英語圏文化演習 <902>	2	
	英語圏文化演習 <903>	2	
	英語圏文化演習 <904>	2	
	英語圏文化演習 <905>	2	
	英語圏文化演習 <906>	2	
	英語圏文化演習 <907>	2	
	英語圏文化演習 <908>	2	
英語圏文化史 A	2		
英語圏文化史 B	2		
各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	◎英語科指導法 I	4	中一種免 2 科目 8 単位 必修。 高一種免いずれか 1 科目 4 単位選択必修。
	◎英語科指導法 II	4	

※“同一科目名の科目”及び“同一科目名・同一識別番号< >の科目”の修得単位について、教員免許状の所要資格として計上できる単位数は、学部規則及び履修の手引の記載において重複履修可の科目であっても、単位数「2」の科目ならば2単位、単位数「4」の科目ならば4単位を限度とする。

※備考欄に「全学共通科目」又は学部名称が記載されている授業科目についての情報は、「全学共通科目」又は備考欄記載学部の授業案内（シラバス）及び掲示板を確認すること。

人文社会学部 人文学科

中学校一種免／高等学校一種免（中国語）

- * 中学校教諭一種免許状は、【教科に関する専門的事項】22単位以上、【各教科の指導法】8単位の計30単位以上修得すること。【教科に関する専門的事項】は、◎必修科目、○選択必修科目の単位を20単位以上、残りの2単位はどの【各科目に含めることが必要な事項】から修得してもよい。
- * 高等学校教諭一種免許状は、【教科に関する専門的事項】30単位以上、【各教科の指導法】4単位以上の計34単位以上修得すること。【教科に関する専門的事項】は、◎必修科目、○選択必修科目の単位を20単位以上、残りの10単位はどの【各科目に含めることが必要な事項】から修得してもよい。なお、【各教科の指導法】の単位を【教科に関する専門的事項】の30単位に含むことはできない。
- * 『中国語科指導法Ⅰ、Ⅱ』の単位は、卒業に必要な単位として加算されない。

免許法施行規則に定める科目区分		左記に対応する 本学の授業科目	単位数	履修方法	備考
科目区分	各科目に含めることが 必要な事項				
教科に関する専門的事項	中国語学	◎中国語学概説Ⅰ	2		
		◎中国語学概説Ⅱ	2		
		中国語法	2		
		中国語史	2		
		中国古典Ⅰ	2		
	中国語文学	◎中国文学概説Ⅰ	2		
		◎中国文学概説Ⅱ	2		
		◎中国文学史	2		
		中国思想史Ⅰ	2		
		中国思想史Ⅱ	2		
	中国語コミュニケーション	○中国語会話Ⅰ<901>	2	1科目選択必修	
		○中国語会話Ⅰ<902>	2		
		○中国語会話Ⅱ<901>	2	1科目選択必修	
		○中国語会話Ⅱ<902>	2		
		◎中国語作文Ⅰ	2		
		◎中国語作文Ⅱ	2		
		上級中国語	2		
	異文化理解	○アジアの言語と文化A	2	1科目選択必修	全学共通科目
		○中国言語文化概論	2		
		中国文化論	2		
中国文化特殊講義<101>		2			
中国文化特殊講義<102>		2			
中国文化特殊講義<103>		2			
中国文化特殊講義<104>		2			
中国文化演習<101>		2			
中国文化演習<102>		2			
中国文化演習<103>	2				
各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	◎○中国語科指導法Ⅰ	4	中一種免2科目8単位必修。 高一種免いずれか 1科目4単位選択必修。		
	◎○中国語科指導法Ⅱ	4			

※“同一科目名の科目”及び“同一科目名・同一識別番号< >の科目”の修得単位について、教員免許状の所要資格として計上できる単位数は、学部規則及び履修の手引の記載において重複履修可の科目であっても、単位数「2」の科目ならば2単位、単位数「4」の科目ならば4単位を限度とする。

※備考欄に「全学共通科目」又は学部名称が記載されている授業科目についての情報は、「全学共通科目」又は備考欄記載学部の授業案内（シラバス）及び掲示板を確認すること。

理学部 数理科学科

中学校一種免／高等学校一種免（数学）

- * 中学校教諭一種免許状は、【教科に関する専門的事項】22単位以上、【各教科の指導演法】8単位の計30単位以上修得すること。【教科に関する専門的事項】は、◎必修科目、○選択必修科目の単位を10単位以上、残りの12単位はどの【各科目に含めることが必要な事項】から修得してもよい。
- * 高等学校教諭一種免許状は、【教科に関する専門的事項】30単位以上、【各教科の指導演法】4単位以上の計34単位以上修得すること。【教科に関する専門的事項】は、◎必修科目、○選択必修科目の単位を10単位以上、残りの20単位はどの【各科目に含めることが必要な事項】から修得してもよい。なお、【各教科の指導演法】の単位を【教科に関する専門的事項】の30単位に含むことはできない。
- * 『数学科指導演法Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ』の単位は、卒業に必要な単位として加算されない。

免許法施行規則に定める科目区分		左記に対応する 本学の授業科目	単位数	履修方法	備考
科目区分	各科目に含めることが 必要な事項				
教科に関する専門的事項	代数学	○集合と論理	2	1科目選択必修	
		○代数学序論	2		
		集合と論理演習	2		
		代数学序論演習	2		
		代数学A	2		
		代数学B	2		
		代数学C	2		
		代数学特別講義Ⅰ	2		
		代数学特別講義Ⅱ	2		
		代数学特別講義Ⅲ	2		
	幾何学	○位相空間論	2	1科目選択必修	
		○幾何学序論	2		
位相空間論演習		2			
幾何学序論演習		2			
幾何学A		2			
幾何学B		2			
幾何学C		2			
幾何学特別講義Ⅰ		2			
幾何学特別講義Ⅱ		2			
幾何学特別講義Ⅲ		2			
解析学	○解析入門Ⅰ	2	1科目選択必修	全学共通科目 全学共通科目	
	○解析入門Ⅱ	2			
	解析入門Ⅰ演習	2			
	解析入門Ⅱ演習	2			
	解析学A	2			
	解析学B	2			
	解析学C	2			
	解析学特別講義Ⅰ	2			
	解析学特別講義Ⅲ	2			
	「確率論、統計学」	○確率統計			2
○現代的教養のための確率統計		2			
解析学特別講義Ⅱ		2			
コンピュータ	◎計算の数理Ⅰ	2			
各教科の指導演法（情報通信技術の活用を含む。）	◎○数学科指導演法Ⅰ	2	中一種免4科目8単位必修。 高一種免Ⅰ及びⅣ又はⅡ及びⅢのいずれか2科目4単位選択必修。		
	◎○数学科指導演法Ⅱ	2			
	◎○数学科指導演法Ⅲ	2			
	◎○数学科指導演法Ⅳ	2			

※備考欄に「全学共通科目」又は学部名称が記載されている授業科目についての情報は、「全学共通科目」又は備考欄記載学部の授業案内（シラバス）及び掲示板を確認すること。

理学部 物理学科
中学校一種免（理科）

- * 【教科に関する専門的事項】30単位以上、【各教科の指導法】8単位の計38単位以上修得すること。
* 『理科指導法Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ』の単位は、卒業に必要な単位として加算されない。

免許法施行規則に定める科目区分		左記に対応する 本学の授業科目	単位数	履修方法	備考
科目 区分	各科目に含めることが 必要な事項				
教科に関する専門的事項	物理学	◎力学Ⅰ	2		
		◎力学Ⅱ	2		
		◎電磁気学Ⅰ	2		
		◎電磁気学Ⅱ	2		
		◎熱力学	2		
		◎量子力学Ⅰ	2		
		物理数学基礎	2		
		解析力学	2		
		物理数学Ⅰ	2		
		統計力学Ⅰ	2		
		量子力学Ⅱ	2		
		量子力学Ⅲ	2		
		物理数学Ⅱ	2		
		統計力学Ⅱ	2		
		連続体基礎	2		
	特殊相対論	2			
	物理学実験（コンピュータ活用を含む。）	○物理学実験第一	2	1科目選択必修	
		○物理学実験第二	2		
		○物理学実験第三	4		
	化学	◎化学概説Ⅰ	2	「Ⅰ」から始まる授業番号の科目を履修すること。	
		◎化学概説Ⅱ	2		
	化学実験（コンピュータ活用を含む。）	◎自然科学実験（化学）	2		
	生物学	◎生物学概説ⅠA	2	「Ⅰ」から始まる授業番号の科目を履修すること。	
◎生物学概説ⅡA		2			
生物学実験（コンピュータ活用を含む。）	◎自然科学実験（生物）Ⅰ	1			
	◎自然科学実験（生物）Ⅱ	1			
地学	◎地球環境科学概説Ⅰ	2		都市環境学部 都市環境学部	
	◎地球環境科学概説Ⅱ	2			
地学実験（コンピュータ活用を含む。）	◎自然科学実験（地学）	2		都市環境学部	
各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	◎理科指導法Ⅰ	2			
	◎理科指導法Ⅱ	2			
	◎理科指導法Ⅲ	2			
	◎理科指導法Ⅳ	2			

※備考欄に「全学共通科目」又は学部名称が記載されている授業科目についての情報は、「全学共通科目」又は備考欄記載学部の授業案内（シラバス）及び掲示板を確認すること。

理学部 物理学科
高等学校一種免（理科）

- * 【教科に関する専門的事項】30単位以上、【各教科の指導法】4単位以上の計34単位以上修得すること。【教科に関する専門的事項】は、◎必修科目、○選択必修科目の単位を24単位以上、残りの6単位はどの【各科目に含めることが必要な事項】から修得してもよい。なお、【各教科の指導法】の単位を【教科に関する専門的事項】の30単位に含むことはできない。
- * 『理科指導法Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ』の単位は、卒業に必要な単位として加算されない。

免許法施行規則に定める科目区分		左記に対応する 本学の授業科目	単位数	履修方法	備考
科目 区分	各科目に含めることが 必要な事項				
教科に関する専門的事項	物理学	◎力学Ⅰ	2		
		◎力学Ⅱ	2		
		◎電磁気学Ⅰ	2		
		◎電磁気学Ⅱ	2		
		◎熱力学	2		
		◎量子力学Ⅰ	2		
		物理数学基礎	2		
		解析力学	2		
		物理数学Ⅰ	2		
		統計力学Ⅰ	2		
		量子力学Ⅱ	2		
		量子力学Ⅲ	2		
		物理数学Ⅱ	2		
		統計力学Ⅱ	2		
		連続体基礎	2		
	特殊相対論	2			
	化学	◎化学概説Ⅰ	2	「Ⅰ」から始まる授業番号の科目を履修すること。	
		◎化学概説Ⅱ	2		
	生物学	◎生物学概説ⅠA	2	「Ⅰ」から始まる授業番号の科目を履修すること。	
		◎生物学概説ⅡA	2		
地学	◎地球環境科学概説Ⅰ	2		都市環境学部 都市環境学部	
	◎地球環境科学概説Ⅱ	2			
「物理学実験（コンピュータ活用を含む。）、化学実験（コンピュータ活用を含む。）、生物学実験（コンピュータ活用を含む。）、地学実験（コンピュータ活用を含む。）」	○物理学実験第一	2	1科目選択必修	都市環境学部	
	○物理学実験第二	2			
	○物理学実験第三	4			
	自然科学実験（化学）	2			
	自然科学実験（生物）Ⅰ	1			
	自然科学実験（生物）Ⅱ	1			
自然科学実験（地学）	2				
各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	◎理科指導法Ⅰ	2	1科目選択必修		
	理科指導法Ⅱ	2			
	○理科指導法Ⅲ	2			
	○理科指導法Ⅳ	2			

※備考欄に「全学共通科目」又は学部名称が記載されている授業科目についての情報は、「全学共通科目」又は備考欄記載学部の授業案内（シラバス）及び掲示板を確認すること。

理学部 化学科
中学校一種免（理科）

- * 【教科に関する専門的事項】28単位以上、【各教科の指導法】8単位の計36単位以上修得すること。
* 『理科指導法Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ』の単位は、卒業に必要な単位として加算されない。

免許法施行規則に定める科目区分		左記に対応する 本学の授業科目	単位数	履修方法	備考	
科目 区分	各科目に含めることが 必要な事項					
教科に関する専門的事項	物理学	◎物理通論Ⅰ	2	「Ⅰ」から始まる授業番号の科目を履修すること。		
		◎物理通論Ⅱ	2			
	物理学実験（コンピュータ活用を含む。）	◎自然科学実験（物理）	2			
	化学		◎化学概説Ⅰ	2	「Ⅰ」から始まる授業番号の科目を履修すること。	
			◎化学概説Ⅱ	2		
			◎無機化学総論	2		
			◎分析化学Ⅰ	2		
			無機固体化学	2		
			無機化学各論Ⅰ	2		
			有機化学Ⅰ	2		
			有機化学Ⅱ	2		
			生物物質化学Ⅰ	2		
			量子化学Ⅰ	2		
			量子化学Ⅱ	2		
			化学熱力学Ⅰ	2		
			構造物理化学	2		
			物性化学Ⅰ	2		
			物性化学Ⅱ	2		
			錯体化学	2		
			地球環境化学	2		
			有機構造解析	2		
			反応有機化学	2		
			生物化学Ⅰ	2		
			反応物理化学	2		
			理論化学概論	2		
			放射化学Ⅰ	2		
		合成有機化学	2			
	化学実験（コンピュータ活用を含む。）		◎化学実験	2		
			化学専門実験Ⅰ	8		
			化学専門実験Ⅱ	8		
	生物学		◎生物学概説ⅠA	2	「Ⅰ」から始まる授業番号の科目を履修すること。	
			◎生物学概説ⅡA	2		
	生物学実験（コンピュータ活用を含む。）		◎自然科学実験（生物）Ⅰ	1		
		◎自然科学実験（生物）Ⅱ	1			
地学		◎地球環境科学概説Ⅰ	2		都市環境学部	
		◎地球環境科学概説Ⅱ	2		都市環境学部	
地学実験（コンピュータ活用を含む。）		◎自然科学実験（地学）	2		都市環境学部	
各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）		◎理科指導法Ⅰ	2			
		◎理科指導法Ⅱ	2			
		◎理科指導法Ⅲ	2			
		◎理科指導法Ⅳ	2			

※備考欄に「全学共通科目」又は学部名称が記載されている授業科目についての情報は、「全学共通科目」又は備考欄記載学部の授業案内（シラバス）及び掲示板を確認すること。

理学部 化学科

高等学校一種免（理科）

* 【教科に関する専門的事項】30単位以上、【各教科の指導法】4単位以上の計34単位以上修得すること。【教科に関する専門的事項】は、◎必修科目の単位を22単位、残りの8単位はどの【各科目に含めることが必要な事項】から修得してもよい。なお、【各教科の指導法】の単位を【教科に関する専門的事項】の30単位に含むことはできない。

* 『理科指導法Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ』の単位は、卒業に必要な単位として加算されない。

免許法施行規則に定める科目区分		左記に対応する 本学の授業科目	単位数	履修方法	備考
科目 区分	各科目に含めることが 必要な事項				
教科に関する専門的事項	物理学	◎物理通論Ⅰ	2	「Ⅰ」から始まる授業番号の科目を履修すること。	
		◎物理通論Ⅱ	2		
	化学	◎化学概説Ⅰ	2	「Ⅰ」から始まる授業番号の科目を履修すること。	
		◎化学概説Ⅱ	2		
		◎無機化学総論	2		
		◎分析化学Ⅰ	2		
		無機固体化学	2		
		無機化学各論Ⅰ	2		
		有機化学Ⅰ	2		
		有機化学Ⅱ	2		
		生体物質化学Ⅰ	2		
		量子化学Ⅰ	2		
		量子化学Ⅱ	2		
		化学熱力学Ⅰ	2		
		構造物理化学	2		
		物性化学Ⅰ	2		
		物性化学Ⅱ	2		
		錯体化学	2		
		地球環境化学	2		
		有機構造解析	2		
		反応有機化学	2		
		生物化学Ⅰ	2		
		反応物理化学	2		
		理論化学概論	2		
	放射化学Ⅰ	2			
	合成有機化学	2			
	生物学	◎生物学概説ⅠA	2	「Ⅰ」から始まる授業番号の科目を履修すること。	
		◎生物学概説ⅡA	2		
	地学	◎地球環境科学概説Ⅰ	2		都市環境学部 都市環境学部
		◎地球環境科学概説Ⅱ	2		
	「物理学実験（コンピュータ活用を含む。）、化学実験（コンピュータ活用を含む。）、生物学実験（コンピュータ活用を含む。）、地学実験（コンピュータ活用を含む。）」	◎化学実験	2		都市環境学部
		自然科学実験（物理）	2		
		自然科学実験（生物）Ⅰ	1		
		自然科学実験（生物）Ⅱ	1		
自然科学実験（地学）		2			
化学専門実験Ⅰ		8			
化学専門実験Ⅱ		8			
各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	◎理科指導法Ⅰ	2	1科目選択必修		
	理科指導法Ⅱ	2			
	○理科指導法Ⅲ	2			
	○理科指導法Ⅳ	2			

※備考欄に「全学共通科目」又は学部名称が記載されている授業科目についての情報は、「全学共通科目」又は備考欄記載学部の授業案内（シラバス）及び掲示板を確認すること。

理学部 生命科学科
中学校一種免（理科）

- * 【教科に関する専門的事項】 23単位以上、【各教科の指導法】 8単位の計31単位以上修得すること。
* 『理科指導法Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ』の単位は、卒業に必要な単位として加算されない。

免許法施行規則に定める科目区分		左記に対応する 本学の授業科目	単位数	履修方法	備考
科目 区分	各科目に含めることが 必要な事項				
教科に関する専門的事項	物理学	◎物理通論Ⅰ	2	「Ⅰ」から始まる授業番号の科目を履修すること。	
		◎物理通論Ⅱ	2		
	物理学実験（コンピュータ活用を含む。）	◎自然科学実験（物理）	2		
	化学	◎化学概説Ⅰ	2	「Ⅰ」から始まる授業番号の科目を履修すること。	
		◎化学概説Ⅱ	2		
	化学実験（コンピュータ活用を含む。）	◎自然科学実験（化学）	2		
	生物学	◎生物学概説ⅠB	2		
		◎生物学概説ⅡB	2		
		系統分類学概論	2		
		生理学概論	2		
		発生生物学概論	2		
		細胞生物学概論	2		
		遺伝学概論	2		
		進化生物学概論	2		
		進化生物学概論 （General Evolutionary Biology）	2		
		生態学概論	2		
		生態学概論（General Ecology）	2		
		微生物学概論	2		
		生化学概論	2		
		分子生物学概論	2		
		系統分類学各論	2		
		細胞生物学各論	2		
		生理学各論	2		
		発生生物学各論	2		
		遺伝学各論	2		
		微生物学各論	2		
		分子生物学各論	2		
		生態学各論	2		
		生態学各論（Ecology）	2		
		進化生物学各論	2		
		生化学各論	2		
		系統分類学特別講義	1		
		生理学特別講義	1		
		発生生物学特別講義	1		
遺伝学特別講義		1			
微生物学特別講義		1			
生態学特別講義		1			
生態学特別講義 （Special Lecture in Ecology 1）		1			
生態学特別講義 （Special Lecture in Ecology 2）		1			
進化生物学特別講義		1			
生化学特別講義	1				
分子生物学特別講義	1				
分子生物学特別講義 （Special Lecture in Molecular Biology 1）	1				
細胞生物学特別講義	1				

生物学実験（コンピュータ活用を含む。）	○生物学実験 1	1	1 科目選択必修	
	○生物学実験 2	1		
	○生物学実験 3	1		
	○生物学実験 4	1		
	植物系統学野外実習	2		
	動物系統学野外実習	2		
	生態学野外実習	2		
	生物学臨海実習	2		
	生理学臨海実習	2		
	発生生物学臨海実習	2		
地学	◎地球環境科学概説 I	2		都市環境学部
	◎地球環境科学概説 II	2		都市環境学部
地学実験（コンピュータ活用を含む。）	◎自然科学実験（地学）	2		都市環境学部
各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	◎理科指導法 I	2		
	◎理科指導法 II	2		
	◎理科指導法 III	2		
	◎理科指導法 IV	2		

※備考欄に「全学共通科目」又は学部名称が記載されている授業科目についての情報は、「全学共通科目」又は備考欄記載学部の授業案内（シラバス）及び掲示板を確認すること。

理学部 生命科学科
高等学校一種免（理科）

* 【教科に関する専門的事項】30単位以上、【各教科の指導法】4単位以上の計34単位以上修得すること。【教科に関する専門的事項】は、◎必修科目、○選択必修科目の単位を17単位以上、残りの13単位はどの【各科目に含めることが必要な事項】から修得してもよい。なお、【各教科の指導法】の単位を【教科に関する専門的事項】の30単位に含むことはできない。

* 『理科指導法Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ』の単位は、卒業に必要な単位として加算されない。

免許法施行規則に定める科目区分		左記に対応する 本学の授業科目	単位数	履修方法	備考
科目 区分	各科目に含めることが 必要な事項				
教科に関する専門的事項	物理学	◎物理通論Ⅰ	2	「Ⅰ」から始まる授業番号の科目を履修すること。	
		◎物理通論Ⅱ	2		
	化学	◎化学概説Ⅰ	2	「Ⅰ」から始まる授業番号の科目を履修すること。	
		◎化学概説Ⅱ	2		
	生物学	◎生物学概説ⅠB	2		
		◎生物学概説ⅡB	2		
		系統分類学概論	2		
		生理学概論	2		
		発生生物学概論	2		
		細胞生物学概論	2		
		遺伝学概論	2		
		進化生物学概論	2		
		進化生物学概論 (General Evolutionary Biology)	2		
		生態学概論	2		
		生態学概論 (General Ecology)	2		
		微生物学概論	2		
		生化学概論	2		
		分子生物学概論	2		
		系統分類学各論	2		
		細胞生物学各論	2		
		生理学各論	2		
		発生生物学各論	2		
		遺伝学各論	2		
		微生物学各論	2		
		分子生物学各論	2		
		生態学各論	2		
		生態学各論 (Ecology)	2		
		進化生物学各論	2		
		生化学各論	2		
		系統分類学特別講義	1		
		生理学特別講義	1		
		発生生物学特別講義	1		
		遺伝学特別講義	1		
		微生物学特別講義	1		
		生態学特別講義	1		
		生態学特別講義 (Special Lecture in Ecology 1)	1		
		生態学特別講義 (Special Lecture in Ecology 2)	1		
		進化生物学特別講義	1		
		生化学特別講義	1		
		分子生物学特別講義	1		
分子生物学特別講義 (Special Lecture in Molecular Biology 1)		1			
細胞生物学特別講義		1			

地学	◎地球環境科学概説Ⅰ	2	1科目選択必修	都市環境学部	
	◎地球環境科学概説Ⅱ	2		都市環境学部	
	○生物学実験1	1		都市環境学部	
	○生物学実験2	1			
	○生物学実験3	1			
	○生物学実験4	1			
	自然科学実験(物理)	2			
	自然科学実験(化学)	2			
	自然科学実験(地学)	2			
	植物系統学野外実習	2			
	動物系統学野外実習	2			
	生態学野外実習	2			
	生物学臨海実習	2			
	生理学臨海実習	2			
	発生物学臨海実習	2			
各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	◎理科指導法Ⅰ	2	1科目選択必修		
	理科指導法Ⅱ	2			
	○理科指導法Ⅲ	2			
	○理科指導法Ⅳ	2			

※備考欄に「全学共通科目」又は学部名称が記載されている授業科目についての情報は、「全学共通科目」又は備考欄記載学部の授業案内(シラバス)及び掲示板を確認すること。

都市環境学部 地理環境学科
中学校一種免（社会）

- * 【教科に関する専門的事項】22単位以上、【各教科の指導法】8単位の計30単位以上修得すること。
* 『政治学G』、『社会学原論ⅠG、ⅡG』、『社会科指導法Ⅰ、Ⅱ』の単位は、卒業に必要な単位として加算されない。

免許法施行規則に定める科目区分		左記に対応する 本学の授業科目	単位数	履修方法	備考
科目 区分	各科目に含めることが 必要な事項				
教科に関する専門的事項	日本史・外国史	◎日本史概説	2		人文社会学部
		◎外国史概説（東洋史）	2		人文社会学部
		◎外国史概説（西洋史）	2		人文社会学部
	地理学（地誌を含む。）	◎地理学概説Ⅰ	2		
		◎地理学概説Ⅱ	2		
		◎地誌学概説	2		
		地理環境科学序説	2		
		地理情報科学	2		
		都市地理学	2		
		環境地理学	2		
		地誌学	2		
		植生地理学	2		
		経済地理学	2		
		政治社会地理学	2		
		計量地理学	2		
		歴史文化地理学	2		
		数理地理学	2		
		地図学	2		
		地理環境科学実習Ⅰ	2		
		地理環境科学実習Ⅱ	2		
		地理環境科学実習Ⅲ	2		
	地理情報システム実習	2			
	「法学、政治学」	◎政治学G	4	1科目選択必修	
	「社会学、経済学」	○社会学原論ⅠG	2		
		○社会学原論ⅡG	2		
	「哲学、倫理学、宗教学」	○哲学（古代中世Ⅰ）	2	1科目選択必修	人文社会学部
		○哲学（古代中世Ⅱ）	2		
		○哲学（近世Ⅰ）	2	1科目選択必修	人文社会学部
○哲学（近世Ⅱ）		2			
各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	◎社会科指導法Ⅰ	4		人文社会学部	
	◎社会科指導法Ⅱ	4		人文社会学部	

※備考欄に「全学共通科目」又は学部名称が記載されている授業科目についての情報は、「全学共通科目」又は備考欄記載学部の授業案内（シラバス）及び掲示板を確認すること。

※次の授業科目についての情報は《 》内記載学部の授業案内（シラバス）及び掲示板を確認すること。

政治学G《法学部》

社会学原論ⅠG、社会学原論ⅡG《人文社会学部》

※類似した名称の授業科目が存在するため、取得予定の免許種の表に記載の科目名の科目を履修申請すること。

異なる名称の科目を履修した場合、単位を修得しても教員免許取得に使用できないので注意すること。

都市環境学部 地理環境学科
高等学校一種免（地理歴史）

- * 【教科に関する専門的事項】30単位以上、【各教科の指導法】4単位の計34単位以上修得すること。
【教科に関する専門的事項】は、◎必修科目の単位を12単位、残りの18単位はどの【各科目に含めることが必要な事項】から修得してもよい。
- * 『地理歴史科指導法』の単位は、卒業に必要な単位として加算されない。

免許法施行規則に定める科目区分		左記に対応する 本学の授業科目	単位数	履修方法	備考
科目 区分	各科目に含めることが 必要な事項				
教科に関する専門的事項	日本史	◎日本史概説	2		人文社会学部
		日本文化史	2		人文社会学部
	外国史	◎外国史概説（東洋史）	2		人文社会学部
		◎外国史概説（西洋史）	2		人文社会学部
		歴史学概論<102>	2		人文社会学部
		歴史学方法論<101>	2		人文社会学部
		歴史学方法論<102>	2		人文社会学部
	人文地理学・自然地理学	◎地理学概説Ⅰ	2		
		◎地理学概説Ⅱ	2		
		地理環境科学序説	2		
		地理情報科学	2		
		都市地理学	2		
		環境地理学	2		
		植生地理学	2		
		経済地理学	2		
		政治社会地理学	2		
		計量地理学	2		
		歴史文化地理学	2		
		数理地理学	2		
		地図学	2		
		地理環境科学実習Ⅰ	2		
		地理環境科学実習Ⅱ	2		
		地理環境科学実習Ⅲ	2		
	地理情報システム実習	2			
	地誌	◎地誌学概説	2		
		地誌学	2		
	各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）		◎地理歴史科指導法	4	

※“同一科目名の科目”及び“同一科目名・同一識別番号< >の科目”の修得単位について、教員免許状の所要資格として計上できる単位数は、学部規則及び履修の手引の記載において重複履修可の科目であっても、単位数「2」の科目ならば2単位、単位数「4」の科目ならば4単位を限度とする。

※備考欄に「全学共通科目」又は学部名称が記載されている授業科目についての情報は、「全学共通科目」又は備考欄記載学部の授業案内（シラバス）及び掲示板を確認すること。

※類似した名称の授業科目が存在するため、取得予定の免許種の表に記載の科目名の科目を履修申請すること。

異なる名称の科目を履修した場合、単位を修得しても教員免許取得に使用できないので注意すること。

都市環境学部 地理環境学科
中学校一種免（理科）

- * 【教科に関する専門的事項】24単位以上、【各教科の指導法】8単位の計32単位以上修得すること。
* 『生物学概説 IAG、IIAG』、『自然科学実験（物理）G、（化学）G、（生物）IG、（生物）IIG』、『理科指導法 I、II、III、IV』の単位は、卒業に必要な単位として加算されない。

免許法施行規則に定める科目区分		左記に対応する 本学の授業科目	単位数	履修方法	備考	
科目 区分	各科目に含めることが 必要な事項					
教科に関する専門的事項	物理学	◎物理通論 I	2		全学共通科目	
		◎物理通論 II	2		全学共通科目	
	物理学実験（コンピュータ活用を含む。）	◎自然科学実験（物理）G	2			
	化学	◎化学概説 I	2		全学共通科目	
		◎化学概説 II	2		全学共通科目	
	化学実験（コンピュータ活用を含む。）	◎自然科学実験（化学）G	2			
	生物学	◎生物学概説 I AG	2			
		◎生物学概説 II AG	2			
	生物学実験（コンピュータ活用を含む。）	◎自然科学実験（生物）IG	1			
		◎自然科学実験（生物）IIG	1			
	地学	◎地球環境科学概説 I	◎地球環境科学概説 I	2		
			◎地球環境科学概説 II	2		
		地形学	2			
		気候学	2			
		第四紀学	2			
		水文学	2			
		地質学	2			
		気象学	2			
		環境気候学	2			
		地理環境科学特殊講義 I	2			
地学実験（コンピュータ活用を含む。）		◎地球科学実験	2			
	測量実習	2				
各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	◎理科指導法 I	2		理学部		
	◎理科指導法 II	2		理学部		
	◎理科指導法 III	2		理学部		
	◎理科指導法 IV	2		理学部		

※備考欄に「全学共通科目」又は学部名称が記載されている授業科目についての情報は、「全学共通科目」又は備考欄記載学部の授業案内（シラバス）及び掲示板を確認すること。

※次の授業科目についての情報は《 》内記載学部の授業案内（シラバス）及び掲示板を確認すること。

自然科学実験（物理）G、自然科学実験（化学）G、生物学概説 IAG、生物学概説 IIAG、自然科学実験（生物）IG、自然科学実験（生物）IIG《理学部》

※類似した名称の授業科目が存在するため、取得予定の免許種の表に記載の科目名の科目を履修申請すること。

異なる名称の科目を履修した場合、単位を修得しても教員免許取得に使用できないので注意すること。

都市環境学部 地理環境学科
高等学校一種免（理科）

- * 【教科に関する専門的事項】30単位以上、【各教科の指導法】4単位の計34単位以上修得すること。
【教科に関する専門的事項】は、◎必修科目の単位を18単位、残りの12単位はどの【各科目に含めることが必要な事項】から修得してもよい。なお、【各教科の指導法】の単位を【教科に関する専門的事項】の30単位に含むことはできない。
- * 『生物学概説 I A G、II A G』、『自然科学実験（物理）G、（化学）G、（生物）I G、（生物）II G』、『理科指導法 I、II、III、IV』の単位は、卒業に必要な単位として加算されない。

免許法施行規則に定める科目区分		左記に対応する 本学の授業科目	単位数	履修方法	備考
科目 区分	各科目に含めることが 必要な事項				
教科に関する専門的事項	物理学	◎物理通論 I	2	}	1科目選択必修
		◎物理通論 II	2		
	化学	◎化学概説 I	2		
		◎化学概説 II	2		
	生物学	◎生物学概説 I A G	2		
		◎生物学概説 II A G	2		
	地学	◎地球環境科学概説 I	2		
		◎地球環境科学概説 II	2		
		地形学	2		
		気候学	2		
		第四紀学	2		
		水文学	2		
		地質学	2		
		気象学	2		
		環境気候学	2		
		地理環境科学特殊講義 I	2		
	「物理学実験（コンピュータ活用を含む。）、化学実験（コンピュータ活用を含む。）、生物学実験（コンピュータ活用を含む。）、地学実験（コンピュータ活用を含む。）」	自然科学実験（物理）G	2		
		自然科学実験（化学）G	2		
		自然科学実験（生物）I G	1		
		自然科学実験（生物）II G	1		
◎地球科学実験		2			
測量実習		2			
各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	◎理科指導法 I	2			
	理科指導法 II	2			
	○理科指導法 III	2			
	○理科指導法 IV	2			

※備考欄に「全学共通科目」又は学部名称が記載されている授業科目についての情報は、「全学共通科目」又は備考欄記載学部の授業案内（シラバス）及び掲示板を確認すること。

※次の授業科目についての情報は《 》内記載学部の授業案内（シラバス）及び掲示板を確認すること。

生物学概説 I A G、生物学概説 II A G、自然科学実験（物理）G、自然科学実験（化学）G、自然科学実験（生物）I G、自然科学実験（生物）II G《理学部》

※類似した名称の授業科目が存在するため、取得予定の免許種の表に記載の科目名の科目を履修申請すること。

異なる名称の科目を履修した場合、単位を修得しても教員免許取得に使用できないので注意すること。

システムデザイン学部 情報科学科

高等学校一種免（情報）

- * 【教科に関する専門的事項】30単位以上、【各教科の指導法】4単位の計34単位以上修得すること。
* 『情報科指導法Ⅰ、Ⅱ』の単位は、卒業に必要な単位として加算されない。

免許法施行規則に定める科目区分		左記に対応する 本学の授業科目	単位数	履修方法	備考
科目 区分	各科目に含めることが 必要な事項				
教科に関する 専門的 事項	情報社会・情報倫理	◎情報社会と法	2		全学共通科目
	コンピュータ・情報処理 (実習を含む。)	◎プログラミング基礎演習Ⅱ	2		
		◎データ構造とアルゴリズムⅠ	2		
		◎データ構造とアルゴリズムⅡ	2		
		形式言語とオートマトン	2		
		離散数学	2		
		データ構造とアルゴリズム演習	2		
		人工知能	2		
		◎計算機システム	2		
		情報論理学	2		
		計算理論	2		
	情報理論	2			
	情報システム (実習を含む。)	◎プログラミング基礎演習Ⅰ	2		
		ソフトウェア構成論	2		
		ソフトウェア設計論	2		
		◎データベース	2		
		ソフトウェア工学	2		
		機械学習	2		
	情報通信ネットワーク (実 習を含む。)	◎コンピュータネットワーク	2		
		◎システムプログラミング実験	2		
	マルチメディア表現・マル チメディア技術 (実習を含 む。)	◎信号処理	2		
		◎応用プログラミング実験	2		
		画像処理	2		
情報と職業	◎情報と職業	2			
各教科の指導法 (情報通信技術の 活用を含む。)	◎情報科指導法Ⅰ	2			
	◎情報科指導法Ⅱ	2		偶数年度開講	

※教職課程認定を受けている科目は、情報科学科の専門教育科目である。(電子情報システム工学科の科目は教職課程の認定科目ではない。) 情報科学科開講の授業科目には、他学科が開講する授業科目と同一名称の授業があるため、履修にあたっては、情報科学科が開講する科目を履修申請すること。

※クラス指定科目となっている対象科目や履修申請方法については、「履修の手引」システムデザイン学部編を参照すること。

※備考欄に「全学共通科目」又は学部名称が記載されている授業科目についての情報は、「全学共通科目」又は備考欄記載学部の授業案内(シラバス)及び掲示板を確認すること。

専攻別 大学が独自に設定する科目一覧表

専攻	人文科学研究科 社会行動学専攻
取得できる免許状の種類	中学校教諭専修免許状・高等学校教諭専修免許状
免許教科	社会・公民
入学年度	2019年度(令和元年度)以降入学

免許状の種類	免許法施行規則に定める科目区分	最低取得単位数	左記科目区分に対応する本学の授業科目	単位数	備考
中専免 高専免 (社会) (公民)	大学が独自に設定する科目	24	社会人類学第一研究演習Ⅰ	2	
			社会人類学第一研究演習Ⅰ②	2	
			社会人類学第一研究演習Ⅱ	2	
			社会人類学第一研究演習Ⅱ②	2	
			社会人類学第二研究演習Ⅰ	2	
			社会人類学第二研究演習Ⅱ	2	
			文化人類学研究演習Ⅰ	2	
			文化人類学研究演習Ⅱ	2	
			地域論研究演習Ⅰ	2	
			地域論研究演習Ⅰ②	2	
			地域論研究演習Ⅱ	2	
			地域論研究演習Ⅱ②	2	
			民俗学研究演習Ⅰ	2	
			民俗学研究演習Ⅱ	2	
			民族誌学研究演習Ⅰ	2	
			民族誌学研究演習Ⅰ②	2	
			民族誌学A	2	
			民族誌学A②	2	

専攻別 大学が独自に設定する科目一覧表

専攻	人文科学研究科 人間科学専攻
取得できる免許状の種類	中学校教諭専修免許状・高等学校教諭専修免許状
免許教科科	国語
入学年度	2019年度(令和元年度)以降入学

免許状の種類	免許法施行規則に定める科目区分	最低取得単位数	左記科目区分に対応する本学の授業科目	単位数	備考
中専免 高専免 (国語)	大学が独自に設定する科目	24	日本語教育学研究<101>	2	
			日本語教育学研究<101>②	2	
			日本語教育学研究<102>	2	
			日本語教育学研究<102>②	2	
			日本語教育学研究<103>	2	
			日本語教育学研究<103>②	2	
			日本語教育学研究<104>	2	
			日本語教育学研究<104>②	2	
			日本語教育学研究<105>	2	
			日本語教育学研究<105>②	2	
			日本語教育学研究<106>	2	
			日本語教育学研究<106>②	2	
			日本語教育学研究<108>	2	
			日本語教育学研究<108>②	2	
			日本語教育学研究<109>	2	
			日本語教育学研究<110>	2	
			日本語教育学研究<111>	2	
			日本語教育学研究<111>②	2	
			日本語教育学研究<112>	2	
			日本語教育学研究<112>②	2	
			日本文学文化論研究<101>	2	
			日本文学文化論研究<101>②	2	
			日本文学文化論研究<102>	2	
			日本文学文化論研究<102>②	2	
			比較言語文化論研究<101>	2	
			比較言語文化論研究<101>②	2	
			日本語教育学実践<101>	2	
			日本語教育学実践<101>②	2	
			日本語教育学実践<102>	2	
			日本語教育学実践<102>②	2	
			日本語教育学実践<103>	2	
			日本語教育学実践<103>②	2	
			日本語教育学実践<104>	2	
			日本語教育学実践<104>②	2	
日本語教育学実践<105>	2				
日本語教育学実践<105>②	2				
日本語教育学実践<106>	2				
日本語教育学実践<106>②	2				

専攻別 大学が独自に設定する科目一覧表

専攻	人文科学研究科 人間科学専攻
取得できる免許状の種類	中学校教諭専修免許状
免許教科	社会
入学年度	2019年度(令和元年度)以降入学

免許状の種類	免許法施行規則に定める科目区分	最低取得単位数	左記科目区分に対応する本学の授業科目	単位数	備考
中専免 (社会)	大学が独自に設定する科目	24	教育行政学研究演習<801>	2	
			教育行政学研究演習<201>	4	
			教育行政学研究演習<201>②	4	
			社会教育学研究	4	
			社会教育学研究②	4	
			多文化教育学研究	4	
			多文化教育学研究②	4	
			教育心理学研究演習	4	
			教育心理学研究演習②	4	
			学校教育学研究第二	4	
			学校教育学研究第二②	4	
			教育学研究第一	4	
			教育学研究第一②	4	
			教育学研究第二<801>	2	
			教育学研究第二<802>	2	
			教育学研究第二<201>	4	
			教育学研究第二<201>②	4	
			教育学総合研究演習第一	4	
			教育学総合研究演習第一②	4	
			教育学総合研究演習第二	2	
			教育学総合研究演習第二②	2	

専攻別 大学が独自に設定する科目一覧表

専攻	人文科学研究科 人間科学専攻
取得できる免許状の種類	高等学校教諭専修免許状
免許教科科	公民
入学年度	2019年度(令和元年度)以降入学

免許状の種類	免許法施行規則に定める科目区分	最低取得単位数	左記科目区分に対応する本学の授業科目	単位数	備考
高専免 (公民)	大学が独自に設定する科目	24	教育行政学研究演習<801>	2	
			教育行政学研究演習<201>	4	
			教育行政学研究演習<201>②	4	
			社会教育学研究	4	
			社会教育学研究②	4	
			多文化教育学研究	4	
			多文化教育学研究②	4	
			発達心理学研究演習第一	2	
			発達心理学研究演習第一②	2	
			発達心理学研究演習第二	2	
			発達心理学研究演習第二②	2	
			教育心理学研究演習	4	
			教育心理学研究演習②	4	
			学校教育学研究第二	4	
			学校教育学研究第二②	4	
			教育学研究第一	4	
			教育学研究第一②	4	
			教育学研究第二<801>	2	
			教育学研究第二<802>	2	
			教育学研究第二<201>	4	
			教育学研究第二<201>②	4	
			教育学総合研究演習第一	4	
			教育学総合研究演習第一②	4	
			教育学総合研究演習第二	2	
教育学総合研究演習第二②	2				

専攻別 大学が独自に設定する科目一覧表

専攻	人文科学研究科 人間科学専攻
取得できる免許状の種類	中学校教諭専修免許状・高等学校教諭専修免許状
免許教科科	英語
入学年度	2019年度(令和元年度)以降入学

免許状の種類	免許法施行規則に定める科目区分	最低取得単位数	左記科目区分に対応する本学の授業科目	単位数	備考		
中専免 高専免 (英語)	大学が独自に設定する科目	24	理論言語学研究第二<101>	2			
			理論言語学研究第二<102>	2			
			音韻論研究<101>	2			
			音韻論研究<102>	2			
			生成言語学研究第一	2			
			生成言語学研究第二	2			
			対照言語学研究	2			
			対照言語学研究演習	2			
			比較統語論研究<101>	2			
			比較統語論研究<102>	2			
			認知神経科学基礎論研究第一<101>	2			
			認知神経科学基礎論研究第一<102>	2			
			認知神経科学基礎論研究第二<101>	2			
			認知神経科学基礎論研究第二<102>	2			
			意味論研究<101>	2			
			意味論研究<102>	2			
			多言語比較研究<101>	2			
			多言語比較研究<102>	2			

専攻別 大学が独自に設定する科目一覧表

専攻	人文科学研究科 文化基礎論専攻
取得できる免許状の種類	中学校教諭専修免許状
免許教科科	社会
入学年度	2019年度(令和元年度)以降入学

免許状の種類	免許法施行規則に定める科目区分	最低取得単位数	左記科目区分に対応する本学の授業科目	単位数	備考
中専免 (社会)	大学が独自に設定する科目	24	古代哲学研究第一<201>	4	
			古代哲学研究第一<201>②	4	
			古代哲学研究第二<201>	4	
			古代哲学研究第二<201>②	4	
			近世哲学研究第一<201>	4	
			近世哲学研究第一<201>②	4	
			近世哲学研究第一<202>	4	
			近世哲学研究第一<202>②	4	
			近世哲学研究第一<203>	4	
			近世哲学研究第一<203>②	4	
			近世哲学研究第二<201>	4	
			近世哲学研究第二<202>	4	
			現代哲学研究第一<201>	4	
			現代哲学研究第一<201>②	4	
			現代哲学研究第一<202>	4	
			現代哲学研究第一<202>②	4	
			現代哲学研究第二<201>	4	
			現代哲学研究第二<201>②	4	
			現代哲学研究第二<202>	4	
			現代哲学研究第二<202>②	4	
			現代哲学研究第二<203>	4	
			現代哲学研究第二<203>②	4	
			倫理学研究第一<201>	4	
			倫理学研究第一<201>②	4	
			古代史研究第一<101>	2	
			古代史研究第二<101>	2	
			古代史研究第二<801>	2	
			古代史研究第三<101>	2	
			古代史研究第三<102>	2	
			中近世史研究第一<101>	2	
			中近世史研究第一<102>	2	
			中近世史研究第一<801>	2	
			中近世史研究第二<101>	2	
			中近世史研究第二<801>	2	
			中近世史研究第三<101>	2	
			中近世史研究第三<102>	2	
			近代史研究第一<101>	2	
			近代史研究第一<102>	2	
			近代史研究第二<101>	2	
			近代史研究第二<801>	2	

近代史研究第三<101>	2	
近代史研究第三<801>	2	
近代史研究第三<802>	2	
近代史研究第三<803>	2	
考古学研究第一<101>	2	
考古学研究第一<801>	2	
考古学研究第一<802>	2	
考古学研究第二<801>	2	
考古学研究第二<802>	2	
考古学研究第二<201>	4	
古代史研究演習第一<901>	4	
古代史研究演習第二<201>	4	
古代史研究演習第二<201>②	4	
古代史研究演習第二<202>	4	
古代史研究演習第二<202>②	4	
古代史研究演習第二<203>	4	
古代史研究演習第二<203>②	4	
古代史研究演習第三<101>	2	
古代史研究演習第三<101>②	2	
古代史研究演習第三<102>	2	
古代史研究演習第三<102>②	2	
古代史研究演習第三<201>	4	
古代史研究演習第三<201>②	4	
古代史研究演習第三<202>	4	
古代史研究演習第三<202>②	4	
中近世史研究演習第一<201>	4	
中近世史研究演習第一<201>②	4	
中近世史研究演習第一<202>	4	
中近世史研究演習第一<202>②	4	
中近世史研究演習第一<203>	4	
中近世史研究演習第一<203>②	4	
中近世史研究演習第一<204>	4	
中近世史研究演習第一<204>②	4	
中近世史研究演習第一<205>	4	
中近世史研究演習第一<205>②	4	
中近世史研究演習第一<206>	4	
中近世史研究演習第一<206>②	4	
中近世史研究演習第二<101>	2	
中近世史研究演習第二<101>②	2	
中近世史研究演習第二<102>	2	
中近世史研究演習第二<102>②	2	
中近世史研究演習第二<103>	2	
中近世史研究演習第二<103>②	2	
中近世史研究演習第二<104>	2	
中近世史研究演習第二<104>②	2	
中近世史研究演習第三<101>	2	
中近世史研究演習第三<101>②	2	
中近世史研究演習第三<102>	2	
中近世史研究演習第三<102>②	2	
中近世史研究演習第三<201>	4	

中近世史研究演習第三<201>②	4	
近代史研究演習第一<101>	2	
近代史研究演習第一<101>②	2	
近代史研究演習第一<102>	2	
近代史研究演習第一<102>②	2	
近代史研究演習第一<103>	2	
近代史研究演習第一<103>②	2	
近代史研究演習第一<104>	2	
近代史研究演習第一<104>②	2	
近代史研究演習第一<105>	2	
近代史研究演習第一<105>②	2	
近代史研究演習第一<106>	2	
近代史研究演習第一<106>②	2	
近代史研究演習第一<201>	4	
近代史研究演習第一<201>②	4	
近代史研究演習第一<202>	4	
近代史研究演習第一<202>②	4	
近代史研究演習第二<201>	4	
近代史研究演習第二<201>②	4	
近代史研究演習第二<202>	4	
近代史研究演習第二<202>②	4	
近代史研究演習第三<201>	4	
近代史研究演習第三<201>②	4	
近代史研究演習第三<202>	4	
近代史研究演習第三<202>②	4	
近代史研究演習第三<203>	4	
近代史研究演習第三<203>②	4	
考古学研究演習第一<201>	4	
考古学研究演習第一<201>②	4	
考古学研究演習第一<202>	4	
考古学研究演習第一<202>②	4	
考古学研究演習第二<101>	2	
考古学研究演習第二<101>②	2	
考古学研究演習第二<201>	4	
史学総合研究演習第一	2	
史学総合研究演習第二	2	

専攻別 大学が独自に設定する科目一覧表

専攻	人文科学研究科 文化基礎論専攻
取得できる免許状の種類	高等学校教諭専修免許状
免許教科	地理歴史
入学年度	2019年度(令和元年度)以降入学

免許状の種類	免許法施行規則に定める科目区分	最低取得単位数	左記科目区分に対応する本学の授業科目	単位数	備考
高専免 (地理歴史)	大学が独自に設定する科目	24	古代史研究第一<101>	2	
			古代史研究第二<101>	2	
			古代史研究第二<801>	2	
			古代史研究第三<101>	2	
			古代史研究第三<102>	2	
			中近世史研究第一<101>	2	
			中近世史研究第一<102>	2	
			中近世史研究第一<801>	2	
			中近世史研究第二<101>	2	
			中近世史研究第二<801>	2	
			中近世史研究第三<101>	2	
			中近世史研究第三<102>	2	
			近代史研究第一<101>	2	
			近代史研究第一<102>	2	
			近代史研究第二<101>	2	
			近代史研究第二<801>	2	
			近代史研究第三<101>	2	
			近代史研究第三<801>	2	
			近代史研究第三<802>	2	
			近代史研究第三<803>	2	
			考古学研究第一<101>	2	
			考古学研究第一<801>	2	
			考古学研究第一<802>	2	
			考古学研究第二<801>	2	
			考古学研究第二<802>	2	
			考古学研究第二<201>	4	
			古代史研究演習第一<901>	4	
			古代史研究演習第二<201>	4	
			古代史研究演習第二<201>②	4	
			古代史研究演習第二<202>	4	
			古代史研究演習第二<202>②	4	
			古代史研究演習第二<203>	4	
			古代史研究演習第二<203>②	4	
			古代史研究演習第三<101>	2	
			古代史研究演習第三<101>②	2	
			古代史研究演習第三<102>	2	
			古代史研究演習第三<102>②	2	
			古代史研究演習第三<201>	4	
			古代史研究演習第三<201>②	4	
			古代史研究演習第三<202>	4	

古代史研究演習第三<202>②	4	
中近世史研究演習第一<201>	4	
中近世史研究演習第一<201>②	4	
中近世史研究演習第一<202>	4	
中近世史研究演習第一<202>②	4	
中近世史研究演習第一<203>	4	
中近世史研究演習第一<203>②	4	
中近世史研究演習第一<204>	4	
中近世史研究演習第一<204>②	4	
中近世史研究演習第一<205>	4	
中近世史研究演習第一<205>②	4	
中近世史研究演習第一<206>	4	
中近世史研究演習第一<206>②	4	
中近世史研究演習第二<101>	2	
中近世史研究演習第二<101>②	2	
中近世史研究演習第二<102>	2	
中近世史研究演習第二<102>②	2	
中近世史研究演習第二<103>	2	
中近世史研究演習第二<103>②	2	
中近世史研究演習第二<104>	2	
中近世史研究演習第二<104>②	2	
中近世史研究演習第三<101>	2	
中近世史研究演習第三<101>②	2	
中近世史研究演習第三<102>	2	
中近世史研究演習第三<102>②	2	
中近世史研究演習第三<201>	4	
中近世史研究演習第三<201>②	4	
近代史研究演習第一<101>	2	
近代史研究演習第一<101>②	2	
近代史研究演習第一<102>	2	
近代史研究演習第一<102>②	2	
近代史研究演習第一<103>	2	
近代史研究演習第一<103>②	2	
近代史研究演習第一<104>	2	
近代史研究演習第一<104>②	2	
近代史研究演習第一<105>	2	
近代史研究演習第一<105>②	2	
近代史研究演習第一<106>	2	
近代史研究演習第一<106>②	2	
近代史研究演習第一<201>	4	
近代史研究演習第一<201>②	4	
近代史研究演習第一<202>	4	
近代史研究演習第一<202>②	4	
近代史研究演習第二<201>	4	
近代史研究演習第二<201>②	4	
近代史研究演習第二<202>	4	
近代史研究演習第二<202>②	4	
近代史研究演習第三<201>	4	
近代史研究演習第三<201>②	4	
近代史研究演習第三<202>	4	

		近代史研究演習第三<202>②	4	
		近代史研究演習第三<203>	4	
		近代史研究演習第三<203>②	4	
		考古学研究演習第一<201>	4	
		考古学研究演習第一<201>②	4	
		考古学研究演習第一<202>	4	
		考古学研究演習第一<202>②	4	
		考古学研究演習第二<101>	2	
		考古学研究演習第二<101>②	2	
		考古学研究演習第二<201>	4	
		史学総合研究演習第一	2	
		史学総合研究演習第二	2	

専攻別 大学が独自に設定する科目一覧表

専攻	人文科学研究科 文化基礎論専攻
取得できる免許状の種類	高等学校教諭専修免許状
免許教科科	公民
入学年度	2019年度(令和元年度)以降入学

免許状の種類	免許法施行規則に定める科目区分	最低取得単位数	左記科目区分に対応する本学の授業科目	単位数	備考
高専免 (公民)	大学が独自に設定する科目	24	古代哲学研究第一<201>	4	
			古代哲学研究第一<201>②	4	
			古代哲学研究第二<201>	4	
			古代哲学研究第二<201>②	4	
			近世哲学研究第一<201>	4	
			近世哲学研究第一<201>②	4	
			近世哲学研究第一<202>	4	
			近世哲学研究第一<202>②	4	
			近世哲学研究第一<203>	4	
			近世哲学研究第一<203>②	4	
			近世哲学研究第二<201>	4	
			近世哲学研究第二<202>	4	
			現代哲学研究第一<201>	4	
			現代哲学研究第一<201>②	4	
			現代哲学研究第一<202>	4	
			現代哲学研究第一<202>②	4	
			現代哲学研究第二<201>	4	
			現代哲学研究第二<201>②	4	
			現代哲学研究第二<202>	4	
			現代哲学研究第二<202>②	4	
			現代哲学研究第二<203>	4	
			現代哲学研究第二<203>②	4	
			倫理学研究第一<201>	4	
			倫理学研究第一<201>②	4	

専攻別 大学が独自に設定する科目一覧表

専攻	人文科学研究科 文化関係論専攻
取得できる免許状の種類	中学校教諭専修免許状・高等学校教諭専修免許状
免許教科	国語
入学年度	2019年度(令和元年度)以降入学

免許状の種類	免許法施行規則に定める科目区分	最低取得単位数	左記科目区分に対応する本学の授業科目	単位数	備考
中専免 高専免 (国語)	大学が独自に設定する科目	24	日本文学研究<101>	2	
			日本文学研究<101>②	2	
			日本文学研究<102>	2	
			日本文学研究<102>②	2	
			日本文学研究<202>	4	
			日本文学研究<202>②	4	
			日本文学研究<203>	4	
			日本文学研究<203>②	4	
			日本文学研究<204>	4	
			日本文化研究<101>	2	
			日本文化研究<102>	2	
			日本文化研究<102>②	2	
			日本文化研究<801>	2	
			日本文化研究<801>②	2	
			日本文化研究<802>	2	
			日本文化研究<802>②	2	
			日本文化研究<202>	4	
			日本文化研究<202>②	4	
			日本文化研究<203>	4	
			日本文化研究<203>②	4	
			日本文化研究<204>	4	
			日本文化研究<901>	4	
			日本文化研究<901>②	4	
			日本文化研究<902>	4	
			日本語学研究<101>	2	
			日本語学研究<102>	2	
			日本語学研究<201>	4	
			日本語学研究<201>②	4	
			日本語学研究<202>	4	
			日本語学研究<901>	4	
日本語学研究<901>②	4				
日本語学研究<902>	4				

専攻別 大学が独自に設定する科目一覧表

専攻	人文科学研究科 文化関係論専攻
取得できる免許状の種類	中学校教諭専修免許状・高等学校教諭専修免許状
免許教科	英語
入学年度	2019年度(令和元年度)以降入学

免許状の種類	免許法施行規則に定める科目区分	最低取得単位数	左記科目区分に対応する本学の授業科目	単位数	備考
中専免 高専免 (英語)	大学が独自に設定する科目	24	英語圏文化論研究<201>	4	
			英語圏文化論研究<202>	4	
			英語圏文化論研究<801>	2	
			英語圏文化論研究<802>	2	
			英語圏文化論研究<803>	2	
			英語圏文化論研究<804>	2	
			英語圏文化論研究<805>	2	
			英語圏文化論研究<806>	2	
			英語圏文化論研究<807>	2	
			英語圏文化論研究<808>	2	
			英語圏文化論研究<809>	2	
			英語圏文化論研究<810>	2	
			英語圏文化論研究<901>	4	
			英語圏文学論研究<101>	2	
			英語圏文学論研究<102>	2	
			英語圏文学論研究<103>	2	
			英語圏文学論研究<104>	2	
			英語圏文学論研究<201>	4	
			英語圏文学論研究<202>	4	
			英語圏文学論研究<801>	2	
			英語圏文学論研究<802>	2	
			英語圏文学論研究<803>	2	
			英語圏文学論研究<804>	2	
			英語圏文学論研究<805>	2	

専攻別 大学が独自に設定する科目一覧表

専攻	人文科学研究科 文化関係論専攻
取得できる免許状の種類	中学校教諭専修免許状・高等学校専修免許状
免許教科	中国語
入学年度	2019年度(令和元年度)以降入学

免許状の種類	免許法施行規則に定める科目区分	最低取得単位数	左記科目区分に対応する本学の授業科目	単位数	備考
中専免 高専免 (中国語)	大学が独自に設定する科目	24	中国文学研究<101>	2	
			中国文学演習<101>	2	
			中国文学演習<102>	2	
			中国文学演習<103>	2	
			中国文学演習<104>	2	
			中国文学演習<801>	2	
			中国文学演習<802>	2	
			中国語学研究<101>	2	
			中国語学研究<102>	2	
			中国語学研究<801>	2	
			中国語学研究<802>	2	
			中国語学演習<101>	2	
			中国語学演習<102>	2	
			中国文化演習<101>	2	
			中国文化演習<102>	2	
			中国文化演習<103>	2	
中国文化演習<104>	2				

専攻別 大学が独自に設定する科目一覧表

専攻	理学研究科 数理科学専攻
取得できる免許状の種類	中学校教諭専修免許状 ・ 高等学校教諭専修免許状
免許教科	数学
入学年度	2019年度(令和元年度)以降入学

免許状の種類	免許法施行規則に定める科目区分	最低取得単位数	左記科目区分に対応する本学の授業科目	単位数	備考
中専免 高専免 (数学)	大学が独自に設定する科目	24	代数学概論(1)	2	
			代数学概論(2)	2	
			代数学概論(3)	2	
			幾何学概論(1)	2	
			幾何学概論(2)	2	
			幾何学概論(3)	2	
			解析学概論(1)	2	
			解析学概論(2)	2	
			解析学概論(3)	2	
			応用数理概論(1)	2	
			応用数理概論(2)	2	
			応用数理概論(3)	2	
			代数学特論1	1	
			代数学特論2	2	
			幾何学特論1	1	
			幾何学特論2	2	
			解析学特論1	1	
			解析学特論2	2	
			応用数理特論1	1	
			応用数理特論2	2	
			代数学特別講義2	2	
			幾何学特別講義2	2	
			解析学特別講義2	2	
			応用数理特別講義2	2	
			数理科学特別講義2	2	
			数理科学演習	1	
数理科学セミナー1	3				
数理科学セミナー2	3				
数理科学セミナー3	3				
数理科学セミナー4	3				

専攻別 大学が独自に設定する科目一覧表

専攻	理学研究科 物理学専攻
取得できる免許状の種類	中学校教諭専修免許状・高等学校教諭専修免許状
免許教科	理科
入学年度	2019年度(令和元年度)以降入学

免許状の種類	免許法施行規則に定める科目区分	最低取得単位数	左記科目区分に対応する本学の授業科目	単位数	備考
中専免 高専免 (理科)	大学が独自に設定する科目	24	一般相対論	2	
			統計物理学	2	
			場の理論	2	
			原子核物理学	2	
			素粒子物理学	2	
			宇宙物理学	2	
			原子物理学	2	
			物性物理学Ⅰ	2	
			物性物理学Ⅱ	2	
			計算物理学	2	
			物理実験学特論A	1	
			物理実験学特論B	1	
			物理実験学特論C	1	
			物理実験学特論D	1	
			素粒子物理学特論	1	
			高エネルギー理論物理学特論	1	
			原子核ハドロン物理学特論	1	
			高エネルギー宇宙物理学特論Ⅰ	1	
			高エネルギー宇宙物理学特論Ⅱ	1	
			非線形物理学特論	1	
			統計力学特論	1	
			量子多体系特論	1	
			超伝導物理学特論	1	
			磁性物理学特論	1	
			高エネルギー物理学特論Ⅰ	1	
			高エネルギー物理学特論Ⅱ	1	
			原子物理学特論Ⅰ	1	
			原子物理学特論Ⅱ	1	
			宇宙物理学特論Ⅰ	1	
			宇宙物理学特論Ⅱ	1	
			電子物性特論Ⅰ	1	
			電子物性特論Ⅱ	1	
			ナノ・表界面物性特論Ⅰ	1	
			ナノ・表界面物性特論Ⅱ	1	
			ソフトマター物性特論Ⅰ	1	
			ソフトマター物性特論Ⅱ	1	
			物質科学ミニマム特論	1	
			科学英語特論	1	
			物理学特論Ⅰ	1	
			物理学特論Ⅱ	2	
			物理学特別セミナーⅠ	2	
			物理学特別セミナーⅡ	2	
			物理学特別セミナーⅢ	2	
			物理学特別セミナーⅣ	2	
			物理学特別実験Ⅰ	2	
			物理学特別実験Ⅱ	2	
物理学特別実験Ⅲ	2				
物理学特別実験Ⅳ	2				
物理学特別演習Ⅰ	2				
物理学特別演習Ⅱ	2				
物理学特別演習Ⅲ	2				
物理学特別演習Ⅳ	2				
物理化学特別講義Ⅰ	1				
物理化学特別講義Ⅱ	2				

専攻別 大学が独自に設定する科目一覧表

専攻	理学研究科 化学専攻
取得できる免許状の種類	中学校教諭専修免許状 ・ 高等学校教諭専修免許状
免許教科	理科
入学年度	2019年度(令和元年度)以降入学

免許状の種類	免許法施行規則に定める科目区分	最低取得単位数	左記科目区分に対応する本学の授業科目	単位数	備考
中専免 高専免 (理科)	大学が独自に設定する科目	24	化学特論Ⅰ	2	
			化学特論Ⅱ	2	
			化学特論Ⅲ	2	
			化学特論Ⅳ	2	
			化学特論Ⅴ	2	
			化学特論Ⅵ	2	
			化学特論Ⅶ	2	
			化学特別講義Ⅱ	2	
			化学特別実験ⅠA	2	
			化学特別実験ⅠB	2	
			化学特別実験ⅡA	2	
			化学特別実験ⅡB	2	
			化学特別セミナーⅠ	2	
			化学特別セミナーⅡ	2	

専攻別 大学が独自に設定する科目一覧表

専攻	理学研究科 生命科学専攻
取得できる免許状の種類	中学校教諭専修免許状・高等学校教諭専修免許状
免許教科科	理科
入学年度	2019年度(令和元年度)以降入学

免許状の種類	免許法施行規則に定める科目区分	最低取得単位数	左記科目区分に対応する本学の授業科目	単位数	備考
中専免 高専免 (理科)	大学が独自に設定する科目	24	生体情報学特論	2	
			生化学特論	2	
			発生生物学特論	2	
			進化遺伝学特論	2	
			生態学特論	2	
			分子生物学特論	2	
			細胞生物学特論	2	
			系統分類学特論	2	
			生体分子特別講義	1	
			細胞情報特別講義	1	
			細胞科学特別講義	1	
			遺伝情報特別講義	1	
			生態科学特別講義	1	
			系統進化特別講義	1	
			発生再生特別講義	1	
			環境応答特別講義	1	
			生命科学特論	2	
			生命科学特別セミナー1	1	
			生命科学特別セミナー2	1	
			生命科学セミナー1	2	
生命科学セミナー2	2				
生命科学実験1	2				
生命科学実験2	2				
生命科学放射線実習	1				

専攻別 大学が独自に設定する科目一覧表

専攻	都市環境科学研究科 都市環境科学専攻（地理環境学域）
取得できる免許状の種類	中学校教諭専修免許状・高等学校教諭専修免許状
免許教科科	社会、地理歴史
入学年度	2018年度(平成30年度)入学以降

免許状の種類	免許法施行規則に定める科目区分	最低取得単位数	左記科目区分に対応する本学の授業科目	単位数	備考
中専免 高専免 (社会) (地理歴史)	大学が独自に設定する科目	24	環境地理学特論Ⅰ	2	隔年開講
			環境地理学特論Ⅱ	2	隔年開講
			地理情報学特論Ⅰ	2	隔年開講
			地理情報学特論Ⅱ	2	隔年開講
			人文地理学特論Ⅰ	2	隔年開講
			人文地理学特論Ⅱ	2	隔年開講
			人文地理学特論Ⅲ	2	隔年開講
			人文地理学特論Ⅳ	2	隔年開講
			地理環境科学演習Ⅰ(環境地理)	2	
			地理環境科学演習Ⅱ(環境地理)	2	
			地理環境科学演習Ⅲ(環境地理)	2	
			地理環境科学演習Ⅳ(環境地理)	2	
			地理環境科学演習Ⅰ(地理情報)	2	
			地理環境科学演習Ⅱ(地理情報)	2	
			地理環境科学演習Ⅲ(地理情報)	2	
			地理環境科学演習Ⅳ(地理情報)	2	
			地理環境科学演習Ⅰ(都市人文)	2	
			地理環境科学演習Ⅱ(都市人文)	2	
			地理環境科学演習Ⅲ(都市人文)	2	
			地理環境科学演習Ⅳ(都市人文)	2	
			地理環境特別セミナーⅠ(環境地理)	2	選択必修
			地理環境特別セミナーⅡ(環境地理)	2	選択必修
			地理環境特別セミナーⅢ(環境地理)	2	選択必修
			地理環境特別セミナーⅣ(環境地理)	2	選択必修
			地理環境特別セミナーⅠ(地理情報)	2	選択必修
			地理環境特別セミナーⅡ(地理情報)	2	選択必修
			地理環境特別セミナーⅢ(地理情報)	2	選択必修
			地理環境特別セミナーⅣ(地理情報)	2	選択必修
			地理環境特別セミナーⅠ(都市人文)	2	選択必修
			地理環境特別セミナーⅡ(都市人文)	2	選択必修
			地理環境特別セミナーⅢ(都市人文)	2	選択必修
			地理環境特別セミナーⅣ(都市人文)	2	選択必修
			地理情報システム特別実習	2	選択必修
野外調査・実験Ⅰ (環境地理・地理情報・都市人文)	6	必修			
野外調査・実験Ⅱ (環境地理・地理情報・都市人文)	2	必修			

専攻別 大学が独自に設定する科目一覧表

専攻	都市環境科学研究科 都市環境科学専攻(地理環境学域)
取得できる免許状の種類	中学校教諭専修免許状・高等学校教諭専修免許状
免許教科科	理科
入学年度	2018年度(平成30年度)入学以降

免許状の種類	免許法施行規則に定める科目区分	最低取得単位数	左記科目区分に対応する本学の授業科目	単位数	備考
中専免 高専免 (理科)	大学が独自に設定する科目	24	地形学特論Ⅰ	2	隔年開講
			地形学特論Ⅱ	2	隔年開講
			気候学特論Ⅰ	2	隔年開講
			気候学特論Ⅱ	2	隔年開講
			地理環境科学演習Ⅰ(地形地質)	2	
			地理環境科学演習Ⅱ(地形地質)	2	
			地理環境科学演習Ⅲ(地形地質)	2	
			地理環境科学演習Ⅳ(地形地質)	2	
			地理環境科学演習Ⅰ(気候)	2	
			地理環境科学演習Ⅱ(気候)	2	
			地理環境科学演習Ⅲ(気候)	2	
			地理環境科学演習Ⅳ(気候)	2	
			地理環境科学特別セミナーⅠ(地形地質)	2	選択必修
			地理環境科学特別セミナーⅡ(地形地質)	2	選択必修
			地理環境科学特別セミナーⅢ(地形地質)	2	選択必修
			地理環境科学特別セミナーⅣ(地形地質)	2	選択必修
			地理環境科学特別セミナーⅠ(気候)	2	選択必修
			地理環境科学特別セミナーⅡ(気候)	2	選択必修
			地理環境科学特別セミナーⅢ(気候)	2	選択必修
			地理環境科学特別セミナーⅣ(気候)	2	選択必修
野外調査・実験Ⅰ(地形地質・気候)	6	必修			
野外調査・実験Ⅱ(地形地質・気候)	2	必修			

大学が独自に設定する科目一覧

専攻	システムデザイン専攻(情報科学域)
取得できる免許状の種類	高等学校教諭専修免許状
免許教科科	情報
入学年度	2018年(平成30年度)以降

免許状の種類	免許法施行規則に定める科目区分	最低取得単位数	左記科目区分に対応する本学の授業科目	単位数	備考
高専免(情報)	大学が独自に設定する科目	24	情報科学特論1	2	隔年開講
			情報科学特論2	2	隔年開講
			ビッグデータサイエンス特論	2	
			情報可視化システム特論	2	
			データ工学特論	2	
			時空間情報処理特論	2	隔年開講
			HCI特論	2	隔年開講
			知能情報処理特論	2	隔年開講
			自然言語処理特論	2	
			情報ネットワーク科学特論	2	
			情報ネットワーク品質特論	2	隔年開講
			バーチャルリアリティ特論	2	隔年開講
			信号処理特論	2	隔年開講
			認知科学特論	2	隔年開講
			音響信号処理特論	2	隔年開講
			情報科学特別研究(M) I	2	必修
			情報科学特別研究(M) II	2	必修
情報科学特別研究(M) III	2	必修			
情報科学特別研究(M) IV	2	必修			

④卒業者の免許状の取得の状況に関すること。

教員免許取得状況

単位:件

年度	区分	中学校	高等学校	計
2011	一種	86	106	192
	専修	30	39	69
	合計	116	145	261
2012	一種	58	90	148
	専修	29	34	63
	合計	87	124	211
2013	一種	66	87	153
	専修	26	34	60
	合計	92	121	213
2014	一種	80	117	197
	専修	22	25	47
	合計	102	142	244
2015	一種	51	72	123
	専修	25	29	54
	小計	76	101	177
	養護教諭一種	6		6
	合計			183
2016	一種	66	85	151
	専修	31	35	66
	小計	97	120	217
	養護教諭一種	7		7
	合計			224
2017	一種	79	102	181
	専修	25	27	52
	小計	104	129	233
	養護教諭一種	4		4
	合計			237
2018	一種	45	57	102
	専修	29	36	65
	小計	74	93	167
	養護教諭一種	4		4
	合計			171
2019	一種	64	78	142
	専修	23	30	53
	小計	87	108	195
	養護教諭一種	11		11
	合計			206
2020	一種	44	61	105
	専修	19	19	38
	小計	63	80	143
	養護教諭一種	6		6
	合計			149
2021	一種	44	49	93
	専修	30	31	61
	小計	74	80	154
	養護教諭一種	5		5
	合計			159
2022	一種	36	38	74
	専修	16	17	33
	小計	52	55	107
	養護教諭一種	0		0
	合計			107

⑤卒業者の教員への就職の状況に関すること

単位：人

学部・研究科等名	採用の区分 ※1	2023年度からの教員への就職状況(内定先校種)										合計				
		中学校 ※2			高等学校			中等教育学校 (中高一貫校含む)			特別支援 学校					
		国	公	私	国	公	私	国	公	私	公	国	公	私		
学部	改組前(2017年度以前入学生) 都市教養学部/都市環境学部/システムデザイン学部		正	3 ^{※3}										3		
			他					1 ^{※3}							1	
	人文社会学部	人間社会学科	正	2 ^{※3}							1			2	1	
			他													
		人文学科	正	1								1			1	1
			他													
	理学部	数理学科	正				1							1		
			他									1			1	
		物理学科	正													
			他													
		化学科	正	2											2	
			他													
	生命科学科	正														
		他														
	都市環境学部	地理環境学科	正													
		他														
システムデザイン学部	情報科学科	正														
		他														
小計			0	8	0	0	1	1	0	0	3	0	0	9	4	
大学院	人文科学研究科	社会行動学専攻	正													
			他													
		人間科学専攻	正													
			他													
		文化基礎論専攻	正													
			他													
	文化関係論専攻	正														
		他														
	理学研究科	数理学専攻	正					1				1			2	
			他									1			1	
		物理学専攻	正													
			他													
		化学専攻	正													
			他													
	生命科学専攻	正														
		他														
	都市環境科学研究科	都市環境科学専攻 (地理環境学域)	正													
			他													
システムデザイン研究科	システムデザイン専攻 (情報科学域)	正									1		1			
		他														
小計			0	0	0	0	0	1	0	0	2	1	0	1	3	
合計			0	8	0	0	1	2	0	0	5	1	0	10	7	

※1 採用の区分 正：正規教員（期限を定めない常勤）に採用された者、 他：正規教員以外（臨時的任用、期限付き任用及び非常勤講師）として採用された者

※2 公立学校内定者のうち、3月時点で採用先の校種（中・高）が不明なものは中学に含める

※3 2021年度以前卒業生のうち、2023年度から教員へ就職する学生（教職課程センターにて把握できた者に限る）を含む

⑥教員の養成に係る教育の質の向上に係る取組に関すること

本学においては、各学部長等を構成員とする教職課程委員会（委員5名、委員長：大学教育センター長）を置いて、教職課程についての大学の方針の審議、教職課程の履修に必要な教科に関する授業科目の認定や連絡調整を行っている。また、2019年4月に、教員養成教育の一層の充実を図るため、教職課程に関する全学的な業務を統括する、教職課程センターを設置した。

【取組について】

教育実習については、学生に対する組織的な指導や円滑な実施をねらいとして、教職課程認定を受けている学部学科の教員、教育学教室の教員等で、教職課程運営部会（委員26名、委員長：大学教育センター教職課程部門長）を構成しており、入学時の全般的ガイダンス、1年次、2年次、3年次における個別履修相談への対応、3年次当初の予備申請ガイダンス、教育実習を行うにあたっての課題に関するレポート提出および評価、4年次当初の本申請ガイダンス、教科別指導、実習期間中の指導、教育実習終了後のレポート提出および評価、さらに合同事前事後指導（教育実習の経験を共有化するため、3年次と4年次の合同指導）、教育実習録点検および評価、最終合否判定まで含め、責任を持って対応する体制をとっている。これと並行して、社会福祉施設および特別支援教育学校での介護等体験にあたっての課題に関するレポート提出と評価、ガイダンスを行っている。このほか、全学及び各学部にてFD委員会において、学生による授業評価アンケートとその教員に対するフィードバック、FDセミナーやFD講演会の開催など、全学的にファカルティディベロップメントに取り組んでおり、教職課程の教育の質の向上も図っている。

また、本学は都民や社会人の学習ニーズに応える生涯学習の拠点として、さらには地域社会の活性化を目指して、大学の持つ学術研究の成果を広く社会に還元する「オープンユニバーシティ」を開設している。この中では、教職課程の運営成果を生かして、大学院レベルの講座を夜間に都心の会場で開設し、現職の高等学校教員の資質向上等に寄与している。